

令和 8 年度（2026 年度）

大分大学大学院福祉健康科学研究科 修士課程
Oita University Graduate School of
Welfare and Health Sciences : Master' s program

学 生 募 集 要 項

Application Guide

一 般 選 拔

社 会 人 選 拔

社会人選拔（事業所推薦）

外 国 人 留 学 生 選 拔

Admissions for International Students

令和 7 年（2025 年） 5 月
May 2025



国立大学法人

大分大学

目 次

大分大学大学院福祉健康科学研究科入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	・	1
大分大学大学院福祉健康科学研究科学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）	・・・	4
1. 入試日程	・・・	6
2. 募集人員	・・・	6
3. 入試区分	・・・	6
一般選抜		
1. 出願資格	・・・	7
2. 出願手続	・・・	7
3. 出願上の注意事項	・・・	9
4. 受験票の交付	・・・	9
5. 入学者選抜方法等	・・・	9
6. 合格者発表	・・・	11
社会人選抜		
1. 出願資格	・・・	12
2. 出願手続	・・・	12
3. 出願上の注意事項	・・・	14
4. 受験票の交付	・・・	14
5. 入学者選抜方法等	・・・	15
6. 合格者発表	・・・	16
社会人選抜（事業所推薦）		
1. 出願資格	・・・	17
2. 出願手続	・・・	17
3. 出願上の注意事項	・・・	19
4. 受験票の交付	・・・	19
5. 入学者選抜方法等	・・・	19
6. 合格者発表	・・・	20
外国人留学生選抜		
1. 出願資格	・・・	21
2. 出願手続	・・・	21
3. 出願上の注意事項	・・・	23
4. 受験票の交付	・・・	24
5. 入学者選抜方法等	・・・	24
6. 合格者発表	・・・	25
共通項目		
1. 出願資格認定について	・・・	26
2. 障がいのある者等の事前相談について	・・・	27
3. 入学手続	・・・	28
4. 入学料及び授業料	・・・	28
5. 追加合格	・・・	28
6. 長期履修制度について	・・・	28
7. 社会人への特例措置	・・・	29
8. 個人情報の取扱い	・・・	29
9. 奨学金制度	・・・	29
10. 学生教育研究災害傷害保険制度	・・・	30
11. 育児支援サービス補助事業	・・・	30
12. 教育訓練給付制度（一般教育訓練）について	・・・	30

【研究科案内】

1. 研究科の概要	31
2. 修業年限	31
3. 修了の要件	31
4. 学位の授与	31
5. 資 格	32
6. 授業科目及び単位数	32
7. 授業科目の概要	34
8. 担当教員	45

大分大学大学院福祉健康科学研究科入学者受入れの方針

(アドミッション・ポリシー：AP)

基本理念

現在、我が国では、様々な社会情勢の変化に伴い、必要となる支援が多様化・複雑化している。そこで、このような急速な変化に対応するために、医療、福祉、心理といった個別の分野の専門性の拡充及びこれらを結節した福祉健康科学の深化を進め、「地域共生社会」の実現を担う高度な実践力と研究力を有する人材の育成を行う。

教育・研究の目標

①健康医科学コース

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、医科学や理学療法学等の自らの専門性を論理的に立証し、健康医科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる臨床・行政のリーダーや教育者、研究者を養成する。

②福祉社会科学コース

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、福祉社会の構築に向けた制度・政策の立案、また相談支援や臨床福祉における実践活動の専門性を論理的に立証し、福祉社会科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができるリーダーや、専門的な教育研究に従事する人材を養成する。

③臨床心理学コース

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、心の健康や心理学的支援に関する高度な専門性を有し、心理学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる心理専門職を養成する。

求める学生像

①健康医科学コース

健康医科学（理学療法学や生命科学等）に関する基礎知識を有し、健康医科学に関する臨床実践・行政・研究を牽引するとともに、「地域共生社会」の実現に携わりたい人。

②福祉社会科学コース

福祉社会科学に関する基礎知識を有し、福祉社会科学に関する実践・行政・研究を牽引するとともに、「地域共生社会」の実現に携わりたい人。

③臨床心理学コース

心理学に関する基礎知識及び臨床心理学的な支援に関する資質を有し、心理専門職として、心理支援の実践や研究を牽引するとともに、「地域共生社会」の実現に携わりたい人。

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、医療、福祉、心理いずれかの基本的知識を持つとともに、「地域共生社会」の理念に立って福祉健康科学における自らの専門分野の意義を多角的な視点で学ぼうとする意欲を持つ人を求める。

- ・一般選抜（全コース）

専門領域の基礎知識や論理的思考力を問う「筆記試験」、及び問題意識や研究の意欲・能力を問う「口述試験」を行い、それらの評価を総合して選抜を行う。

- ・社会人選抜（健康医科学コース及び福祉社会科学コース）

専門領域の基礎知識や論理的思考力を問う「筆記試験」、及び問題意識や研究の意欲・能力を問う「口述試験」、さらに学術的・社会的経験に関する「書類選考」を行い、それらの評価を総合して選抜を行う。また、事業所推薦（福祉社会科学コース）では、現在勤務中の事業所における研究・活動実績についても評価する。

- ・外国人留学生選抜（健康医科学コース及び福祉社会科学コース）

専門領域の基礎知識に関する問いに英語ないし日本語で解答する「筆記試験」、及び問題意識や研究の意欲・能力を問う「口述試験」を行い、それらの評価を総合して選抜を行う。

※「地域共生社会」とは

本学が定義する「地域共生社会」とは、「種々な問題・困りを抱える人を含めたすべての人が、その問題・困りの性質や年齢・世代にかかわらず、その必要性に応じて医療・福祉・心理を中心とした学融合的なアプローチに基づく専門的な支援などを活用しながら、その人格や主体性など自他の権利を尊重しつつ、地域社会の中で互いにつながり、多様な存在価値を認めあうコミュニティをつくり出していく社会」のことをいう。

各選抜試験で重視する観点

コース	入 試 区 分			求める学生像		
				(1) 健康医科学（理学療法学や生命科学等）に関する基礎知識を有する人	(2) 健康医科学に関する臨床実践・行政・研究を牽引したい人	(3) 「地域共生社会」の実現に携わりたい人
健康医科学	一般選抜	筆記試験	英語	◎		
			小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	社会人選抜	書類選考		○	○	
		筆記試験	小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	外国人留学生選抜	筆記試験	専門科目	◎	○	
		口述試験	個人面接		◎	◎

コース	入 試 区 分			求める学生像		
				(1) 福祉社会科学に関する基礎知識を有する人	(2) 福祉社会科学に関する実践・行政・研究を牽引したい人	(3) 「地域共生社会」の実現に携わりたい人
福祉社会科学	一般選抜	筆記試験	英語	◎		
			専門科目	◎		
			小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	社会人選抜	書類選考		○	○	
		筆記試験	専門科目	◎	○	
			小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	社会人選抜（事業所推薦）	書類選考		○	○	○
		筆記試験	小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	外国人留学生選抜	筆記試験	専門科目	◎	○	
		口述試験	個人面接		◎	◎

コース	入 試 区 分			求める学生像		
				(1) 心理学に関する基礎知識を有する人	(2) 心理専門職として、心理支援の実践や研究を牽引したい人	(3) 「地域共生社会」の実現に携わりたい人
臨床心理学	一般選抜	筆記試験	英語	◎		
			臨床心理学	◎	○	
			基礎心理学	◎	○	
		口述試験	個人面接		◎	◎

◎は特に重視する

大分大学大学院福祉健康科学研究科学学位授与の方針

(ディプロマ・ポリシー：D P)

(1) 学位授与の方針

福祉健康科学研究科は、教育目標として『「より高度な専門性を備え、多角的・総合的な支援を地域に根付かせていく実践力」と「医科学を取り入れて福祉健康科学を深化させることができる研究力」を兼ね備え、かつそれらの相互作用によって、「地域共生社会」の概念を理解し、多角的な方向からその実現を担うパイオニアの養成を目的とする』を示し、そこに含まれる2つの能力それぞれに対してディプロマ・ポリシーを設定する。

① ディプロマ・ポリシー1（実践力）

3コースに共通する方針に各コースの方針を加えることによって、各コースのディプロマ・ポリシー1が完成する。

3コースに共通する方針

自らの専門領域に加え、医療、福祉、心理を俯瞰し、個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している。

健康医科学コースの方針

福祉健康科学及び健康医科学を深く理解し、医療に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している。

福祉社会科学コースの方針

福祉健康科学及び福祉社会科学を深く理解し、福祉に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している。

臨床心理学コースの方針

福祉健康科学と心理学を深く理解し、心の健康に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している。

② ディプロマ・ポリシー2（研究力）

3コースに共通する方針に各コースの方針を加えることによって、各コースのディプロマ・ポリシー2が完成する。

3コースに共通する方針

自らの専門領域を基盤としつつ、医科学の視点やその研究手法を取り入れ、福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している。

健康医科学コースの方針

健康医科学に関する課題を明らかにし、健康医科学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している。

福祉社会科学コースの方針

現代の福祉課題や地域の福祉ニーズを分析し、福祉社会科学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している。

臨床心理学コースの方針

心の健康や心理学的支援に関する現代的課題を発見・分析し、臨床心理学を中心とする心理学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している。

上記の考えに基づき、1 専攻としての学びの上に各コースとしての学びを積み重ねることによって、ディプロマ・ポリシー 1 及び 2 に示す知識・技術を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。そのため、コースごとに授与する学位は次の通りとする。

- ・健康医科学コース（授与する学位：修士（健康医科学））
- ・福祉社会科学コース（授与する学位：修士（福祉社会科学））
- ・臨床心理学コース（授与する学位：修士（心理学））

募 集 要 項

1. 入試日程

区 分	第 1 次募集	第 2 次募集
出願期間	令和 7 年（2025 年）7 月 28 日(月) ～令和 7 年（2025 年）8 月 1 日(金)	令和 7 年（2025 年）11 月 10 日(月) ～令和 7 年（2025 年）11 月 14 日(金)
試 験 日	令和 7 年（2025 年）8 月 31 日(日)	令和 7 年（2025 年）12 月 6 日(土)
合格者発表	令和 7 年（2025 年）9 月 11 日(木)	令和 7 年（2024 年）12 月 17 日(水)

※第 1 次募集で定員充足した場合は、原則として第 2 次募集は実施しません。

※また、第 2 次募集まで実施した結果、定員に満たない場合は第 3 次募集を行うことがあります。募集の実施の有無については大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）でお知らせしますので、確認してください。

2. 募集人員

専 攻	コース	募集人員	備考
福祉健康科学	健康医科学コース 福祉社会科学コース 臨床心理学コース	20 人	一般選抜、社会人選抜、社会人選抜（事業所推薦）、外国人留学生選抜を合わせた募集人員

※各コースの受け入れの目安は次のとおりです。

健康医科学コース 5 人程度

福祉社会科学コース 5 人程度

臨床心理学コース 10 人程度

3. 入試区分

専 攻	コース	入試区分
福祉健康科学	健康医科学コース	一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜
	福祉社会科学コース	一般選抜、社会人選抜、社会人選抜（事業所推薦）、外国人留学生選抜
	臨床心理学コース	一般選抜

一 般 選 抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者（令和 8 年（2026 年）3 月末までに出願資格に該当する見込みの者を含む）

- ①大学を卒業した者
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- ⑦専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- ⑨本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

注）出願資格⑥、⑨のいずれかにより出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができます。

申請書類については、共通項目（p.26）の「1. 出願資格認定について」により提出してください。

2. 出願手続

志願者は「（2）出願書類等」に掲げる書類等を取り揃え、下記出願期間中に提出してください。

（1）出願期間

第 1 次募集 令和 7 年（2025 年）7 月 28 日（月）～8 月 1 日（金）17:00 まで（必着）


第 2 次募集 令和 7 年（2025 年）11 月 10 日（月）～11 月 14 日（金）17:00 まで（必着）

ア 受付時間は、9 時から 17 時までとします。

イ 郵送の場合は、「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「福祉健康科学研究科入学志願書類在中」と朱書きし、下記あてに郵送してください。

提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課

(2) 出願書類等 (提出された書類は返却しません。)

出 願 書 類 等	摘 要
①入学志願書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②受験票	
③入学検定料払込 (30,000円)	<p>下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。</p> <p>お支払い後は、「収納証明書 (コンビニエンスストアによっては領収書)」を A 4 白紙に貼り付けて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (https://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から申し込んでください。 ・携帯電話からの申込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 <p>※手数料は本人負担です。 ※納入した検定料は返還できません。 ※国費外国人留学生については、納付する必要はありません。</p> 
④成績証明書	出身学校等の長が証明したもの。
⑤卒業 (見込) 証明書又は 修了 (見込) 証明書	日本語以外の証明書は日本語訳を添付してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑥学位授与証明書又は学位 授与申請書受理証明書 (出願資格②に該当する者)	大学改革支援・学位授与機構が証明した学位授与証明書又は学位授与申請書受理証明書を提出してください。
⑦学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑧出願資格認定通知書の 写し (出願資格認定を受 けた者)	出願資格ありと認定された者は、出願資格認定通知書のコピーを提出してください。
⑨戸籍抄本等の写し (改姓した者)	改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑩住民票の写し (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人は、市・区・町・村長の発行した「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの) を提出してください。なお、入学志願書等には、この住民票の写しに記載された氏名を記入してください。
⑪受験票等送付用封筒	市販の長形 3 号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 (410円) を貼ってください。
⑫事前相談実施報告書 (健康医科学コース受験 者のみ)	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 進学説明会は年 1 回開催します。日程等は本学ホームページにてお知らせします。
⑬合格通知用住所票	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。

※出願書類の様式は下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

3. 出願上の注意事項

- ① 入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等が不備なものは受付できません。
- ④ 出願書類等は一括して取り揃え、志願者が直接提出してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 災害に関する特別措置(入学検定料等)につきましては、本学ホームページでお知らせします。
- ⑦ 複数のコースに同時に申し込むことはできません。
- ⑧ 出願前に、以下に示す相談を行ってください。

- ・健康医科学コース：必ず健康医科学コースの担当教員と進学希望等について十分に相談をしてください。相談の際は、巻末に示す健康医科学コース担当教員一覧の中からメールで連絡をとってください。また、事前相談の実施については、その事実を「事前相談実施報告書」により出願時に提出してください。報告書には事前相談を行った担当教員の押印が必要です。

以上の手続きはすべての募集において求めるものです。

可能なら本学において開催する大学院進学説明会にも参加してください。

- ・福祉社会科学コース：できる限り福祉社会科学コースの担当教員と進学希望等について十分に相談をしてください。相談の際は、巻末に示す福祉社会科学コース担当教員一覧の中からメールで連絡をとってください。本学において開催する大学院進学説明会に参加してください。

以上の手続きはすべての募集において求めるものです。

- ・臨床心理学コース：できる限り本学において開催する大学院進学説明会に参加してください。できる限り志願するコースの担当教員と進学希望等について相談をしてください。

- ・進学説明会の詳細は本学ホームページでお知らせします。

4. 受験票の交付

受験票は、出願書類受理後、本人に郵送により交付します。

なお、試験前日までに受験票が到着しないとき、又は受験票を紛失したときは、出願時に提出したものと同一の写真を1枚持参の上、試験当日の受付の際に申し出てください。

5. 入学者選抜方法等

試験日	第1次募集	令和7年(2025年)8月31日(日)
	第2次募集	令和7年(2025年)12月6日(土)

(1) 学力検査等

コース毎に筆記試験、口述試験及び書類選考を総合して選考します。

○健康医科学コース

試 験（総得点）	科 目（配点）	時 間
筆記試験（200）	英 語 （50）	9時00分～9時45分
	小論文 （150）	10時15分～12時15分
口述試験（100）	個人面接 （100）	13時10分～

【備考】

- ・「英語」においては、辞書（英和）の持ち込みを認めます。ただし、電子辞書の持ち込みやスマートフォン等を辞書として用いることは認めません。
- ・「小論文」は、理学療法学や生命科学等に関する理解を問う問題とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。

○福祉社会科学コース

試 験（総得点）	科 目（配点）	時 間
筆記試験（200）	英 語 （50）	9時00分～9時45分
	専門科目 （50） 小論文 （100）	10時15分～12時15分
口述試験（100）	個人面接 （100）	13時10分～

【備考】

- ・「英語」においては、辞書（英和）の持ち込みを認めます。ただし、電子辞書の持ち込みやスマートフォン等を辞書として用いることは認めません。
- ・「専門科目」は、福祉社会科学（社会福祉制度・政策、ソーシャルワーク等）に関する知識を問う問題とします。
- ・「小論文」は、福祉社会に関する理解を問う問題とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。

○臨床心理学コース

試 験（総得点）	科 目（配点）	時 間
筆記試験（200）	英 語 （50）	9時00分～9時45分
	臨床心理学 （80） 基礎心理学 （70）	10時15分～12時15分
口述試験（100）	個人面接 （100）	13時10分～

【備考】

- ・「英語」においては、辞書（英和）の持ち込みを認めます。ただし、電子辞書の持ち込みやスマートフォン等を辞書として用いることは認めません。
- ・「臨床心理学」に関する問題は、臨床心理学に関する知識を問う問題とします。

- ・「基礎心理学」に関する問題は、認知心理学、学習心理学、神経生理心理学、発達心理学、社会心理学・教育心理学等の中から出題します。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づき行います。

※受付は、一般選抜は 8 時 30 分までに終わってください。

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内に試験室へ到着した場合に限り、受験を認めます。

(2) 試験会場

大分市大字旦野原 700 番地

大分大学福祉健康科学部（旦野原キャンパス）

6. 合格者発表

第 1 次募集 令和 7 年（2025 年）9 月 11 日（木）10 時

第 2 次募集 令和 7 年（2025 年）12 月 17 日（水）10 時

合格者には郵送により通知します。また、大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話による可否の問い合わせには一切お答えできません。

社 会 人 選 抜

1. 出願資格

健康医科学コース、福祉社会科学コースを志望し、次のいずれかに該当する者（令和 8 年（2026 年）3 月末までに出願資格に該当する見込みの者を含む）で、志願するコースの職務に関連する 2 年以上の経験を有する者

- ①大学を卒業した者
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- ⑦専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- ⑨本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

注）出願資格⑥、⑨のいずれかにより出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができます。

申請書類については、共通項目（p.26）の「1. 出願資格認定について」により提出してください。

2. 出願手続

志願者は「(2) 出願書類等」に掲げる書類等を取り揃え、下記出願期間中に提出してください。

(1) 出願期間

第 1 次募集 令和 7 年（2025 年）7 月 28 日（月）～8 月 1 日（金）17:00 まで（必着）


第 2 次募集 令和 7 年（2025 年）11 月 10 日（月）～11 月 14 日（金）17:00 まで（必着）

ア 受付時間は、9 時から 17 時までとします。

イ 郵送の場合は、「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「福祉健康科学研究科入学志願書類在中」と朱書きし、下記あてに郵送してください。

提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課

(2) 出願書類等 (提出された書類は返却しません。)

出 願 書 類 等	摘 要
①入学志願書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②受験票	
③入学検定料払込 (30,000円)	<p>下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。</p> <p>お支払い後は、「収納証明書 (コンビニエンスストアによっては領収書)」を A 4 白紙に貼り付けて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンからの本学ホームページ (https://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から申し込んでください。 ・ 携帯電話からの申込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 <p>※手数料は本人負担です。 ※納入した検定料は返還できません。 ※国費外国人留学生については、納付する必要はありません。</p> 
④成績証明書	出身学校等の長が証明したもの。
⑤卒業 (見込) 証明書又は 修了 (見込) 証明書	日本語以外の証明書は日本語訳を添付してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑥学位授与証明書又は学位 授与申請書受理証明書 (出願資格②に該当する者)	大学改革支援・学位授与機構が証明した学位授与証明書又は学位授与申請書受理証明書を提出してください。
⑦学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑧業績一覧 (社会人選抜 受験者のみ)	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 「(1) 研究業績」については、主な業績のコピーを各 1 部添付してください。 ただし、提出する業績は 3 篇までとします。「(2) 志願する領域に関する教育・支援実践・社会活動等」については可能な限り関連する資料を添付してください。出願資格審査において提出した場合は不要です。
⑨出願資格認定通知書の 写し (出願資格認定を受 けた者)	出願資格ありと認定された者は、出願資格認定通知書のコピーを提出してください。
⑩受験及び就学承諾書 (健康医科学コースの社 会人選抜受験者で、有職 者のみ)	入学後も在職のまま就学しようとする者は、本学ホームページから所定の様式をダウンロードして、所属機関長の受験及び就学承諾書を提出してください。
⑪戸籍抄本等の写し (改姓した者)	改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)

⑫住民票の写し (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人は、市・区・町・村長の発行した「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を提出してください。なお、入学志願書等には、この住民票の写しに記載された氏名を記入してください。
⑬受験票等送付用封筒	市販の長形3号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手(410円)を貼ってください。
⑭事前相談実施報告書 (健康医科学コースの受験者のみ)	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。進学説明会は年1回開催します。日程等は本学ホームページにてお知らせします。
⑭合格通知用住所票	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。

※出願書類の様式は下記 URL からダウンロードできます。
<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

3. 出願上の注意事項

- ① 入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等が不備なものは受付できません。
- ④ 出願書類等は一括して取り揃え、志願者が直接提出してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 災害に関する特別措置(入学検定料等)につきましては、本学ホームページでお知らせします。
- ⑦ 複数のコースに同時に出願することはできません。
- ⑧ 出願前に、以下に示す相談を行ってください。
 - ・健康医科学コース：必ず健康医科学コースの担当教員と進学希望等について十分に相談をしてください。相談の際は、巻末に示す健康医科学コース担当教員一覧の中からメールで連絡をとってください。また、事前相談の実施については、その事実を「事前相談実施報告書」により出願時に提出してください。報告書には事前相談を行った担当教員の押印が必要です。
以上の手続きはすべての募集において求めるものです。
可能なら本学において開催する大学院進学説明会にも参加してください。
 - ・福祉社会科学コース：できる限り福祉社会科学コースの担当教員と進学希望等について十分に相談をしてください。相談の際は、巻末に示す福祉社会科学コース担当教員一覧の中からメールで連絡をとってください。、本学において開催する大学院進学説明会に参加してください。
以上の手続きはすべての募集において求めるものです。
 - ・進学説明会の詳細は本学ホームページでお知らせします。

4. 受験票の交付

受験票は、出願書類受理後、本人に郵送により交付します。

なお、試験前日までに受験票が到着しないとき、又は受験票を紛失したときは、出願時に提出したものと同一の写真を1枚持参の上、試験当日の受付の際に申し出てください。

5. 入学者選抜方法等

試験日 第1次募集 令和7年(2025年)8月31日(日)

第2次募集 令和7年(2025年)12月6日(土)

(1) 学力検査等

コース毎に筆記試験、口述試験及び書類選考を総合して選考します。

○健康医科学コース

試験(総得点)	科目(配点)	時間
書類選考 (50)	書類選考 (50)	
筆記試験 (150)	小論文 (150)	10時15分～12時15分
口述試験 (100)	個人面接 (100)	13時10分～

【備考】

- ・「小論文」は、理学療法学や生命科学等に関する理解を問う問題とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。
- ・「書類選考」は、社会人としての実務経験や研究業績等を入学志願書、学修計画書及び業績一覧により審査します。

○福祉社会科学コース

試験(総得点)	科目(配点)	時間
書類選考 (50)	書類選考 (50)	
筆記試験 (150)	専門科目 (50) 小論文 (100)	10時15分～12時15分
口述試験 (100)	個人面接 (100)	13時10分～

【備考】

- ・「専門科目」は、福祉社会科学(社会福祉制度・政策、ソーシャルワーク等)に関する知識を問う問題とします。
- ・「小論文」は、福祉社会に関する理解を問う問題とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。
- ・「書類選考」は、社会人としての実務経験や研究業績等を入学志願書、学修計画書及び業績一覧により審査します。

※受付は、社会人選抜は9時45分までに終わってください。

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に試験室へ到着した場合に限り、受験を認めます。

(2) 試験会場

大分市大字旦野原 700 番地

大分大学福祉健康科学部（旦野原キャンパス）

6. 合格者発表

第1次募集 令和7年（2025年）9月11日（木）10時

第2次募集 令和7年（2025年）12月17日（水）10時

合格者には郵送により通知します。また、大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話による可否の問い合わせには一切お答えできません。

社会人選抜（事業所推薦）

1. 出願資格

福祉社会科学コースを志望し、次のいずれかに該当する者（令和8年（2026年）3月末までに
出願資格に該当する見込みの者を含む）で、志願するコースの職務に関連する2年以上
の経験を有し、志願時に保健・福祉・医療等に関する施設、機関あるいは地方公共団体から
の推薦された者

- ①大学を卒業した者
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当
該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年
の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度
において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課
程を修了した者
- ⑥大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、
外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当
該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大
学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる
ものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教
育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大
学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基
準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める
日以後に修了した者
- ⑧文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- ⑨本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力
があると認めた者で、22歳に達したもの

注）出願資格⑥、⑨のいずれかにより出願しようとする者については、事前に出願資格の審査
を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができます。

申請書類については、共通項目（p.26）の「1. 出願資格認定について」により提出して
ください。

2. 出願手続

志願者は「（2）出願書類等」に掲げる書類等を取り揃え、下記出願期間中に提出してください。

（1）出願期間

第1次募集 令和7年（2025年）7月28日（月）～8月1日（金）17:00まで（必着）


第2次募集 令和7年（2025年）11月10日（月）～11月14日（金）17:00まで（必着）

ア 受付時間は、9時から17時までとします。

イ 郵送の場合は、「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「福祉健康科学研究科入学志願
書類在中」と朱書きし、下記あてに郵送してください。

提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課

(2) 出願書類等 (提出された書類は返却しません。)

出 願 書 類 等	摘 要
①入学志願書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②受験票	
③入学検定料払込 (30,000円)	<p>下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。</p> <p>お支払い後は、「収納証明書 (コンビニエンスストアによっては領収書)」を A 4 白紙に貼り付けて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (https://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から申し込んでください。 ・携帯電話からの申込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 <p>※手数料は本人負担です。 ※納入した検定料は返還できません。 ※国費外国人留学生については、納付する必要はありません。</p> 
④成績証明書	出身学校等の長が証明したもの。
⑤卒業 (見込) 証明書又は 修了 (見込) 証明書	日本語以外の証明書は日本語訳を添付してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑥学位授与証明書又は学位 授与申請書受理証明書 (出願資格②に該当する者)	大学改革支援・学位授与機構が証明した学位授与証明書又は学位授与申請書受理証明書を提出してください。
⑦学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑧業績一覧 (社会人選抜 受験者のみ)	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 「(1) 研究業績」については、主な業績のコピーを各 1 部添付してください。 ただし、提出する業績は 3 篇までとします。「(2) 志願する領域に関する教育・支援実践・社会活動等」については可能な限り関連する資料を添付してください。出願資格審査において提出した場合は不要です。
⑨出願資格認定通知書の 写し (出願資格認定を受 けた者)	出願資格ありと認定された者は、出願資格認定通知書のコピーを提出してください。
⑩事業所推薦書 (福祉社会科学コース社 会人選抜 (事業所推薦)) 志願者のみ)	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 保健・福祉・医療等に関する施設、機関あるいは地方公共団体の所属の長による推薦書。 推薦文は、当該施設等における志願者の役割や実践経験を踏まえて記入してください。
⑪戸籍抄本等の写し (改姓した者)	改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
⑫住民票の写し (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人は、市・区・町・村長の発行した「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの) を提出してください。なお、入学志願書等には、この住民票の写しに記載された氏名を記入してください。
⑬受験票等送付用封筒	市販の長形 3 号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 (410円)

	を貼ってください。
⑭合格通知用住所票	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。

※出願書類の様式は下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

3. 出願上の注意事項

- ① 入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等が不備なものは受付できません。
- ④ 出願書類等は一括して取り揃え、志願者が直接提出してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 災害に関する特別措置(入学検定料等)につきましては、本学ホームページでお知らせします。
- ⑦ 複数のコースに同時に出願することはできません。
- ⑧ 出願前に、以下に示す相談を行ってください。
 - ・福祉社会科学コース：できる限り福祉社会科学コースの担当教員と進学希望等について十分に相談をしてください。相談の際は、巻末に示す福祉社会科学コース担当教員一覧の中からメールで連絡をとってください。本学において開催する大学院進学説明会に参加してください。
 - 以上の手続きはすべての募集において求めるものです。
 - ・進学説明会の詳細は本学ホームページでお知らせします。

4. 受験票の交付

受験票は、出願書類受理後、本人に郵送により交付します。

なお、試験前日までに受験票が到着しないとき、又は受験票を紛失したときは、出願時に提出したものと同一の写真を1枚持参の上、試験当日の受付の際に申し出てください。

5. 入学者選抜方法等

試験日 第1次募集 令和7年(2025年)8月31日(日)

第2次募集 令和7年(2025年)12月6日(土)

(1) 学力検査等

コース毎に筆記試験、口述試験及び書類選考を総合して選考します。

○福祉社会科学コース

試 験（総得点）	科 目（配点）	時 間
書類選考（100）	書類選考（100）	
筆記試験（100）	小論文（100）	10時55分～12時15分
口述試験（100）	個人面接（100）	13時10分～

【備考】

- ・「小論文」は、福祉社会に関する理解を問う問題とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。
- ・「書類選考」は、社会人としての実務経験や研究業績等を入学志願書、学修計画書及び業績一覧により審査します。

※受付は、社会人選抜（事業所推薦）は10時25分までに終わってください。

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に試験室へ到着した場合に限り、受験を認めます。

(2) 試験会場

大分市大字旦野原 700 番地

大分大学福祉健康科学部（旦野原キャンパス）

6. 合格者発表

第1次募集 令和7年（2025年）9月11日（木）10時

第2次募集 令和7年（2025年）12月17日（水）10時

合格者には郵送により通知します。また、大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話による可否の問い合わせには一切お答えできません。

外国人留学生選抜

1. 出願資格

健康医科学コース、福祉社会科学コースを志望し、日本国籍を有しない者であって、次のいずれかに該当する者（令和 8 年（2026 年）3 月末までに出願資格に該当する見込みの者を含む）

- ①外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ②外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ③外国において学校教育における 12 年の課程を修了（これに準ずる者として文部科学大臣が定めるものを含む。）し、日本の大学を卒業した者
- ④文部科学大臣の指定した者
- ⑤大学教育を修了するまでに 16 年を要しない国からの外国人留学生であって次の条件を充たし、かつ本学大学院が日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者入学時において 22 歳に達する者であって大学教育終了後日本国内又は国外の大学又は国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関で、研究生・研究員等として 1 年以上研究に従事した者
- ⑥外国において学校教育における 12 年の課程を修了（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）し、本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において 22 歳に達する者

注）出願資格⑤、⑥のいずれかにより出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができます。

申請書類については、共通項目（p26）の「1. 出願資格認定について」により提出してください。

2. 出願手続

志願者は「（2） 出願書類等」に掲げる書類等を取り揃え、下記出願期間中に提出してください。

（1）出願期間

第1次募集 令和7年（2025年）7月28日（月）～8月1日（金）17:00まで（必着）

第2次募集 令和7年（2025年）11月10日（月）～11月14日（金）17:00まで（必着）

ア 受付時間は、9時から17時までとします。

イ 郵送の場合は、「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「福祉健康科学研究科入学志願書類在中」と朱書きし、下記あてに郵送してください。

提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課

(2) 出願書類等 (提出された書類は返却しません。)

出 願 書 類 等	摘 要
①入学志願書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②受験票	
③入学検定料払込 (30,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>A. 日本国内から検定料を振込む場合 ※手数料は本人負担です。 ①金融機関 (郵便局を含む) でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書 (大学提出用)」をA4白紙に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストアでお支払いの場合 下記の URL から申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書 (コンビニエンスストアによっては領収書)」をA4白紙に貼ってください。 ・パソコンからの本学ホームページ (https://www.oita-u.ac.jp/) 上部メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込み URL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 ※納付した検定料は返還できません。</p> <p>B. 日本国外から検定料を振込む場合 ※手数料は本人負担です。 1. 「CHG SENDER (払込人負担)」で送金</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2. 送金金額：『検定料 30,000 円』+『円為替手数料 4,000 円』+※『現地振込銀行手数料』 3. 『現地振込銀行手数料』は、現地振込銀行に確認し必ず加算して送金してください。 (不足している場合が多いため)</p> </div> <p>4. 下記の要領に従って外国送金してください。 ① 送金種類：電信送金 (Telegraphic Transfer) ② 支払方法：通知払 (Advise and Pay) ③ 送金目的：検定料 (Application Fee) ④ 送金先 ・銀行名：大分銀行 (THE OITA BANK, LTD.) Bank code No. 0183 ・支店名：しきど支店 (SHIKIDO BRANCH) Branch code No. 069 ・口座番号：普通預金 5261880 (A/C No. 5261880) ・受取人：国立大学法人大分大学学長 北野 正剛 (Oita University President Kitano Seigo) ・銀行住所：〒870-1121 大分市大字鷺野 862-2 (862-2 Oshino Oita-shi 870-1121 JAPAN) ・スウィフトコード：OITAJPJT ・大分大学住所：700 Dannoharu Oita-shi 870-1192 JAPAN</p> <p>5. 送金の際、送金人 (Remitter) が出願者本人でない場合は、連絡事項 (Message) に出願者本人の氏名を記入してください。 6. 送金の際、連絡事項 (Message) に以下を記入してください。 「B1」 7. 振込み後は、「外国送金依頼書」の写しをA4白紙にはがれないように糊付けしてください。 8. 国費外国人留学生については、納付する必要はありません。</p>



④成績証明書	出身学校等の長が証明したもの。
⑤卒業（見込）証明書又は 修了（見込）証明書	日本語以外の証明書は日本語訳を添付してください。 （ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。）
⑥学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 （ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。） 英語または日本語で作成してください。福祉社会科学コース志願者は英語で作成する場合は日本語訳を添付してください。
⑦業績一覧	研究等に関する業績がある場合は提出してください。本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 「（１）研究業績」については、主な業績のコピーを各１部添付してください。 ただし、提出する業績は３篇までとします。「（２）志願する領域に関する教育・支援実践・社会活動等」については可能な限り関連する資料を添付してください。出願資格審査において提出した場合は不要です。
⑧出願資格認定通知書の 写し（出願資格認定を受 けた者）	出願資格ありと認定された者は、出願資格認定通知書のコピーを提出してください。
⑨日本語能力の証明書 （福祉社会科学コース志 願者のみ）	日本留学試験（日本語）の成績証明書または日本語能力試験 N1 または N2 の成績証明書
⑩住民票の写し	市・区・町・村長の発行した「住民票の写し」（在留資格、在留期間が記載されたもの）を提出してください。なお、入学志願書等には、この住民票の写しに記載された氏名を記入してください。
⑪受験票等送付用封筒	市販の長形３号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手（４１０円）を貼ってください。
⑫事前相談実施報告書 （健康医科学コース志願 者のみ）	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 英語又は日本語で作成してください。
⑬合格通知用住所票	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。

※出願書類の様式は下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

３．出願上の注意事項

- ① 入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ② 一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願期間後に到着したもの及び出願書類等が不備なものは受付できません。
- ④ 出願書類等は一括して取り揃え、志願者が直接提出してください。
- ⑤ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 複数のコースに同時に出願することはできません。
- ⑦ 出願前に、必ずコースの担当教員と進学希望等について十分に相談をしてください。相談の際は、巻末に示すコース担当教員一覧の中からメールで連絡をとり、それ以後も常に連絡が取れるようにしてください。また、健康医科学コースについては、事前相談実施の事実を「事前

相談実施報告書」により出願時に提出してください。

4. 受験票の交付

受験票は、出願書類受理後、本人に郵送により交付します。

なお、試験前日までに受験票が到着しないとき、又は受験票を紛失したときは、出願時に提出したものと同一の写真を1枚持参の上、試験当日の受付の際に申し出てください。

5. 入学者選抜方法等

試験日 第1次募集 令和7年（2025年）8月31日（日）

第2次募集 令和7年（2025年）12月6日（土）

(1) 学力検査等

コース毎に筆記試験及び口述試験を総合して選考します。

○健康医科学コース

試 験（総得点）	科 目（配点）	時 間
筆記試験（100）	専門科目（100）	10時55分～12時15分
口述試験（200）	個人面接（200）	13時10分～

【備考】

- ・「専門科目」は、理学療法学や生命科学等に関する理解を問う問題（英語による）とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。

○福祉社会科学コース

試 験（総得点）	科 目（配点）	時 間
筆記試験（100）	専門科目（100）	10時55分～12時15分
口述試験（200）	個人面接（200）	13時10分～

【備考】

- ・「専門科目」は、福祉社会に関する理解を問う問題（日本語による）とします。
- ・「個人面接」は、学修計画書等に基づいて行います。

※受付は、10時25分までに終わってください。

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に試験室へ到着した場合に限り、受験を認めます。

(2) 試験会場

大分市大字旦野原 700 番地

大分大学福祉健康科学部（旦野原キャンパス）

※海外在住の者で、来日して受験することが困難な場合は、研究科が認めた場合に限り、オンラインの代替的手段によって試験を行うことができます。希望する場合は、出願時に入試課に

申し出てください。

6. 合格者発表

第1次募集 令和7年(2025年)9月11日(木)10時

第2次募集 令和7年(2025年)12月17日(水)10時

合格者には郵送により通知します。また、大分大学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/>)
にも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話による可否の問い合わせには一切お答えできません。

共 通 項 目

1. 出願資格認定について

出願資格⑥、⑨（一般選抜、社会人選抜、社会人（事業所））及び出願資格⑤、⑥（外国人留学生選抜）のいずれかにより出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。（出願資格認定を希望する者は、事前に入試課に相談してください。）

- （1）出願資格⑥により出願しようとする場合（一般選抜、社会人選抜、社会人（事業所））（提出された書類は返却しません。）

提 出 書 類	摘 要
①出願資格認定申請書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②最終学歴に関する証明書等	卒業（修了）証明書、成績証明書 日本語以外の証明書は、日本語訳を添付してください。 （短期大学又は高等専門学校の特攻科を卒業（修了）した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書、成績証明書を併せて提出してください。）
③学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
④その他の資料	科目等履修生等の成績証明書
⑤戸籍抄本等の写し（改姓した者）	改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。

- （2）出願資格⑨により出願しようとする場合（一般選抜、社会人選抜、社会人（事業所））（提出された書類は返却しません。）

提 出 書 類	摘 要
①出願資格認定申請書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②最終学歴に関する証明書等	卒業（修了）証明書、成績証明書 日本語以外の証明書は、日本語訳を添付してください。 （短期大学又は高等専門学校の特攻科を卒業（修了）した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書、成績証明書を併せて提出してください。）
③学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
④業績一覧	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。 「（1）研究業績」については、主な業績のコピーを各1部添付してください。ただし、提出する業績は3篇までとします。「（2）志願する領域に関する教育・支援実践・社会活動等」については可能な限り関連する資料を添付してください。
⑤その他の資料	科目等履修生等の成績証明書、志望するコースに関する研究会やセミナー等に参加したことを確認できるもの等。

⑥戸籍抄本等の写し (改姓した者)	改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
----------------------	--

- (3) 出願資格⑤、⑥により出願しようとする場合（外国人留学生選抜）（提出された書類は返却しません。）

提出書類	摘 要
①出願資格認定申請書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
②最終学歴に関する証明書等	卒業（修了）証明書、成績証明書 日本語以外の証明書は、日本語訳を添付してください。 （短期大学又は高等専門学校の特攻科を卒業（修了）した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書、成績証明書を併せて提出してください。）
③学修計画書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードして使用してください。
④その他の資料	科目等履修生等の成績証明書

※出願資格認定申請書類の様式は下記 URL からダウンロードできます。
<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

※出願資格認定申請書類の様式は下記 URL からダウンロードできます。
<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

(3) 提出期間

第1次募集 令和7年（2025年）7月8日（火）～7月15日（火）17：00まで（必着）

第2次募集 令和7年（2025年）10月20日（月）～10月24日（金）17：00まで（必着）

(4) 提出方法 郵送に限ります。

「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「出願資格認定申請書在中」と朱書きし、郵送してください。

(5) 提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）

(6) 認定の結果 認定の結果は、下記期日までに本人に通知します。

第1次募集 令和7年（2025年）7月23日（水）

第2次募集 令和7年（2025年）11月5日（水）

2. 障がいのある者等の事前相談について

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の事項を記載した配慮申請書に医師の診断書を添えて下記期日までに本学学

生支援部入試課に提出してください。

- | | | | |
|---|---------------------|-----------------------|---|
| 〔 | ・ 障がいの種類・程度 | ・ 受験の際に特別な配慮を希望する事項 | 〕 |
| | ・ 修学の際に特別な配慮を希望する事項 | ・ 日常生活の状況及びその他参考となる事項 | |

第1次募集 令和7年(2025年) 7月15日(火) 17時まで

第2次募集 令和7年(2025年) 10月24日(金) 17時まで

※配慮申請書の様式は下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

3. 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知とともに送付する「入学手続のご案内」によりお知らせいたします。

なお、入学手続きは下記の時期を予定していますが、入学手続期間に入学手続をしなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

入学手続き時期 第1次募集 令和7年(2025年) 10月中旬

第2次募集 令和8年(2026年) 1月上旬

4. 入学料及び授業料

入学料 282,000 円

授業料(年額) 535,800 円(前期分 267,900 円 後期分 267,900 円)

注1 入学料については、免除・徴収猶予の制度が、授業料については免除の制度があります。

免除・徴収猶予の申請は、入学手続期間に行う必要がありますので、詳細については、学生・留学生支援課奨学支援係(TEL097-554-7386)までお問い合わせください。

注2 入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注3 既納の入学料は返還できません。

注4 入学料の免除・徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに入学手続期間に申請書類を提出してください。ただし、入学手続き完了後に入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

注5 国費外国人留学生については、入学料・授業料を納付する必要はありません。

5. 追加合格

入学辞退等により入学定員(募集定員)に欠員が生じたときは、追加合格を通知することがあるので、不合格であっても速やかに連絡がとれるように、また、入学の意思について回答ができるようにしておいてください。

追加合格による欠員補充が困難なときは、新たな日程による追加募集を行うことがあります。その場合は、大分大学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/>)でお知らせしますので、確認してください。

6. 長期履修制度について

この制度では、標準修業年限を超えて計画的に授業科目を履修し修了することにより学位を取得

することができます。長期履修制度を利用できる対象者は、有職者及び正規の履修期間内で修学が困難な事情がある者（家事、育児及び介護など）です。

この制度の利用は原則として入学時の申請により認められます。また、修学状況等の変動により、申請した修業年限を短縮することも可能です。

長期履修学生として認められた場合の授業料は、下記の「授業料の納入例」を参照して下さい。

また、入学後履修期間を延長する場合、授業料総額に追加的費用が発生します。

なお、申請方法等については後日合格通知書等でお知らせします。

※この制度は、臨床心理学コースについては適用されません。

【授業料の納入例】（年度により金額の変更がないと仮定した場合）

標準修業年限（2年）

1年次 (535,800円)	2年次 (535,800円)	1,071,600円
-------------------	-------------------	------------

ア 入学時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

$1,071,600円 \div 3年 = 357,200円$

イ 入学時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

$1,071,600円 \div 4年 = 267,900円$

7. 社会人への特例措置

近年、大学院における社会人の再教育への要望が高まっていますが、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されることになります。

このことを踏まえ、社会人に配慮して、夜間に授業を開講することで履修・修学しやすい環境を整備しています。

※この特例措置は、臨床心理学コースについては適用されません。

8. 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した場合には、選考資料として利用します。

9. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、本人の申請により貸与が認められた場合の貸与月額は、次のとおりです。

大学院第一種奨学金（無利子）	月額 50,000円又は88,000円
----------------	---------------------

大学院第二種奨学金（有利子）	月額 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円 ・150,000円から選択
----------------	---

10. 学生教育研究災害傷害保険制度

この保険は、大学院在学中の実験・実習等の正課、学校行事又は課外活動中及び通学中に不慮の事故により被った負傷、死亡等の災害に対する補償制度です。詳細について、ご希望の方は入学手続きの際にお尋ねください。

11. 育児支援サービス補助事業

育児と学業の両立を支援することを目的とし、育児支援サービスを利用する際の料金の一部を大学が負担する事業があります。詳細については、男女共同参画推進室（TEL 097-554-8573、E-mail: fsupport@oita-u.ac.jp）までお問い合わせください。

12. 教育訓練給付制度（一般教育訓練）について

本研究科は、令和7年4月1日から、教育訓練給付制度の一般教育訓練給付制度厚生労働省指定講座に指定されました。在職中の方は、雇用保険の被保険者であった期間が1年以上、離職中の方は受講開始日が、離職した日の翌日から1年以内、受講開始日時点で、雇用保険の被保険者であった期間が1年以上の方が対象となり、修了した日の翌日から起算し、1か月以内に本人の住居を管轄する公共職業安定所に申請することで、受講料の20%（上限10万円）が給付されます。

詳しくは、厚生労働省 「教育訓練給付」 で検索してください。

福祉健康科学研究科案内

1. 研究科の概要

本研究科は、福祉健康科学の理念に基づき、医療、福祉、心理に関する教育研究を1専攻（福祉健康科学専攻）で行い、また各領域に関する専門的な教育研究を行う組織として、「健康医科学コース」、「福祉社会科学コース」、「臨床心理学コース」が設けられています。

《健康医科学コース》

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、医科学や理学療法学等の自らの専門性を論理的に立証し、健康医科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる臨床・行政のリーダーや教育者、研究者を養成することを目的とします。

《福祉社会科学コース》

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、福祉社会の構築に向けた制度・政策の立案、また相談支援や臨床福祉における実践活動の専門性を論理的に立証し、福祉社会科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができるリーダーや、専門的な教育研究に従事する人材を養成することを目的とします。

《臨床心理学コース》

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、心の健康や心理学的支援に関する高度な専門性を有し、心理学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる心理専門職を養成することを目的とします。

2. 修業年限

2年を標準とします。

3. 修了の要件

2年以上在学し、基礎科目6単位以上、発展科目12単位以上及び研究展開科目12単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とします。

なお、発展科目12単位以上については、健康医科学コースは、医療関連科目群から8単位以上、福祉関連科目群から2単位以上、心理関連科目群から2単位以上を、福祉社会科学コースは、福祉関連科目群から8単位以上、医療関連科目群から2単位以上、心理関連科目群から2単位以上を、臨床心理学コースは、心理関連科目群から8単位以上、医療関連科目群から2単位以上、福祉関連科目群から2単位以上を修得することとします。（下記6 授業科目及び単位数参照）

4. 学位の授与

健康医科学コースを修了した者には、修士（健康医科学）の学位を授与します。

福祉社会科学コースを修了した者には、修士（福祉社会科学）の学位を授与します。

臨床心理学コースを修了した者には、修士（心理学）の学位を授与します。

5. 資格

臨床心理学コースは、公認心理師の受験資格取得に必要なカリキュラムによる教育を行っています。学部で公認心理師受験資格に必要な科目を修めた人は、同コースで必要な科目を修めることによって公認心理師の受験資格を得ることができます。

また、臨床心理学コースは、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より第一種大学院の指定を受ける予定です。同コースに所属する学生は、所定の単位を修得し、臨床心理学に関する修士論文を作成すれば、臨床心理士の受験資格を得ることができます。

6. 授業科目及び単位数

科目区分、分野		授業科目の名称	単位	必修選択
基礎科目		福祉健康科学特論Ⅰ	2	選択
		福祉健康科学特論Ⅱ	2	選択
		地域医療健康増進科学特論	2	選択
		地域福祉特論	2	選択
		家族・コミュニティ心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	選択
		社会科学・生命倫理科学特論＊	2	選択
発展科目	医療関連科目群	健康医科学特論	2	選択
		高齢者疾患特論	2	選択
		病態医科学特論	2	選択
		病態治療学特論	2	選択
		運動器系機能病態解析学特論	2	選択
		神経系機能病態解析学特論	2	選択
		医療工学特論	2	選択
		公衆衛生学特論	2	選択
		基礎生命科学特論Ⅰ＊	2	選択
		基礎生命科学特論Ⅱ＊	2	選択
		応用生命科学特論Ⅰ＊	2	選択
		応用生命科学特論Ⅱ＊	2	選択
		基礎生命科学実習Ⅰ＊	2	選択
		基礎生命科学実習Ⅱ＊	2	選択
		応用生命科学実習Ⅰ＊	2	選択
		応用生命科学実習Ⅱ＊	2	選択
		臨床実践演習	2	選択
		精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2	選択
	福祉関連科目群	福祉社会科学課題演習	2	選択
		社会福祉原理論	2	選択
		社会保障政策特論	2	選択
		福祉政策特論	2	選択
		高齢者福祉特論	2	選択
		児童・家庭福祉特論	2	選択
		障害者福祉特論	2	選択

発展科目		生活困窮者支援特論	2	選択
		医療福祉特論	2	選択
		福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	選択
		心理学研究法特論	2	選択
		臨床心理学研究法特論	2	選択
		神経生理心理学特論	2	選択
	心理関連科目群	臨床発達心理学特論	2	選択
		健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	2	選択
		司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	選択
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	選択
		産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2	選択
		生涯発達心理学特論	2	選択
		教育心理学特論	2	選択
		臨床心理学特論Ⅰ	2	選択
		臨床心理学特論Ⅱ	2	選択
		臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2	選択
		臨床心理面接特論Ⅱ※	2	選択
		臨床心理査定演習Ⅰ（心理アセスメントに関する理論と実践）※	2	選択
		臨床心理査定演習Ⅱ※	2	選択
		臨床心理基礎実習※	2	選択
		臨床心理展開実習（心理実践実習A）※	2	選択
		臨床心理応用実習A（心理実践実習B）※	3	選択
		臨床心理応用実習B（心理実践実習C）※	2	選択
		臨床心理実習A（心理実践実習D）※	2	選択
		臨床心理実習B※	2	選択
		臨床動作法特論※	2	選択
		集団心理療法特論※	2	選択
	研究展開科目	福祉健康科学特別演習Ⅰ	2	必修
		福祉健康科学特別演習Ⅱ	2	必修
		福祉健康科学特別研究Ⅰ	4	必修
		福祉健康科学特別研究Ⅱ	4	必修

※ 発展科目（心理関連科目群）の一部の履修は臨床心理学コース所属の学生に限るものとします。

※ ＊印の科目については、留学生を対象とした科目です。

※ カリキュラムは変更される場合があります。

7. 授業科目の概要

授業科目の名称	講義等の内容
福祉健康科学特論Ⅰ	本研究科の目的は「地域共生社会の概念を理解し、多角的な方向からその実現を担うことができるパイオニア」を養成することである。そのためには、まず、「福祉健康科学」や「地域共生社会」の概念を確実に理解するとともに、関連する取組の実際を具体的に理解しておく必要がある。この科目では、二年間の学修を始めるにあたり、まず「福祉健康科学」や「地域共生社会」について深く学び、それをもって今後の学修の基礎とすることをねらいとする。
福祉健康科学特論Ⅱ	福祉健康科学特論Ⅰで得た「福祉健康科学」と「地域共生社会」に関する理解に基づき、健康医科学、社会福祉科学、臨床心理学の専門的な視点や技法がいかに「地域共生社会」の実現に役立つのか、具体的な取組事例（個の支援および地域・コミュニティ支援）にも触れながら深く学ぶ。また、それらの視点を結節させ、連携と協働のもとに、「地域共生社会」を牽引する方策あるいは資質・能力について考究する。これにより、医療、福祉、心理を俯瞰し、多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術の伸長を進める。
地域医療健康増進科学特論	本科目のうち、地域医療の分野では、現在行われている地域医療についてがん患者の事例を中心に学修する。健康増進分野では事例や先行研究の検証を通じて、健康増進に関する課題と問題解決の方法を学修する。以上を通して、地域医療や健康増進に関する研究を遂行するために必要な理論および実践的な方法論を身につける。
地域福祉特論	地域社会では、社会的孤立や社会的排除による複雑・多様化した福祉課題が顕在化している。このような課題解決に向けた地域共生社会政策と関連する「実践」および「研究」の動向を踏まえ、本科目では地域福祉実践の視点、方法や関連政策、諸制度を文献、事例などを中心に学ぶ。さらに、各回の報告、ディスカッションを通じて、今日的な地域福祉と関連する諸課題を分析し、能動的に検討できることをめざす。
家族・コミュニティ心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	心理臨床の現場では、クライアントへの個別的支援だけでなく「家族・集団・地域社会」全体を支援するコミュニティの視点も求められる。本授業では、家族関係に関する支援（家族療法を含む）、集団に関する支援について学んだ後、医療や福祉をはじめとする多職種との協働と総合的支援の展開について実践的に学ぶ。
社会科学・生命倫理科学特論	社会科学・生命倫理科学特論では、各分野に共通した研究を進める際に必要な、基本的な理論を習得するために必要な知識・技術を教授する。
健康医科学特論	病者に対する安全で適切な医療や科学的に健全な生命科学研究を実施する臨床家やその研究者を育成するためには、正常な人体の構造や機能を理解することが不可欠である。これらの理解のためには解剖学、生化学、生理学などの基礎医学の理解が必要である。基礎医学の基礎から研究の最前線までを俯瞰して、深く学ぶことを目的とする。

授業科目の名称	講義等の内容
高齢者疾患特論	高齢者では生理的加齢変化とさまざまな疾患が相乗することにより、機能障害がもたらされる。このため高齢者医療を考える際に、老化と老年病に関する総合的な知識が不可欠である。特に後期高齢者においてその傾向が著しく、個別の疾患や障害の診断や評価はもちろんのこと、それらを総合して患者の全体像を的確に把握する能力が要求される。
病態医科学特論	主要な疾患の理解には、その病因、病態を深く学ぶことが不可欠である。基礎医学の知識を基にした各種疾患における病理学、病理組織学を学ぶとともに、炎症、腫瘍、循環等の病態生理学への理解を深める。また病態治療に用いるために不可欠な薬理学のメカニズムを身につけ、疾患への深い理解へ結びつけることを目的とする。
病態治療学特論	健康医科学においては、多くの愁訴、疾患を抱えた人々への理解が必要不可欠である。また各種病態の診断、治療は刻々と変化しており、表面的なものでなく病態の深い理解、また最新の診断学、治療法を身につけねばならない。本科目では、幅広い疾患においてその発生機序、病態生理を学ぶことにより、より深い疾患の理解を得る。また、病態に基づいた最新の診断、治療法について具体的な症例を通して学ぶ。
運動器系機能病態解析学特論	筋、神経、関節などの運動器系は理学療法の対象となることが多い。また運動器系の病態に関して、その発症要因や治療法について詳細に理解するためには、分子の役割から病態のメカニズムまで深く理解する必要がある。本講義では、運動器系の機能や病態に関して分子メカニズムから詳細に理解し、運動器系の病態に対する治療とそのメカニズムに関して最新の知見を学ぶ。
神経系機能病態解析学特論	神経機能は運動や感覚、コミュニケーションや記憶・学習など、ヒトが社会において適応的な行動を生み出すための重要な組織である。そして、この神経機能が障害されると、ヒトが生活を営むための機能の喪失、すなわち生活の質の低下に直結する。そのため、神経機能の病態をミクロ～マクロレベルで理解することが、神経疾患患者の社会復帰を促進する上で必要不可欠となる。本講義では、脳をはじめとする神経機能の詳細な理解と解析手法を学ぶことで、神経機能病態を詳細に理解する手法を習得する。
医療工学特論	医療福祉機器の開発や地域産業の活性化を目的に、大学と企業の産学官連携や、医療と工学の医工連携による新しい技術や製品の開発が進められている。本講義では、医療従事者として工学の専門的知識・技術を学び、医療と工学の連携による新しい技術の開発やそれによる地域医療の進歩について深く探究する。さらに、各分野における工学技術を取り入れた医療機器の治療・診断技術の特性、医工連携に関する開発研究について、導入事例を通して学ぶ。

授業科目の名称	講義等の内容
公衆衛生学特論	自然科学としての医学とその応用としての医療は、社会とのつながりの中で人々の役に立つ。現在の我が国は、超高齢社会やがん、メタボリック症候群などの問題に直面している。加えて、世界的には感染症や環境汚染等の未解決の問題が山積しており、その対策への我が国の貢献が期待されている。これらの問題を理解し解決するために必要な公衆衛生学的な考え方の基礎を固めることを目標とする。
基礎生命科学特論Ⅰ	基礎生命科学特論Ⅰでは、研究を進めるにあたって必要な医学・医療英語語彙を習得し、英語論文理解・作成のためのリーディング・ライティング技能を錬成する。
基礎生命科学特論Ⅱ	医学・医療英語語彙を習得し、学会でのポスターおよび口述発表を行うことができる英語のスピーキング・リスニング技能を錬成する。
応用生命科学特論Ⅰ	研究倫理、ならびに各教員の専門性を凝縮した講義を受講することで、研究や学修の視野、研究遂行に関する知識を広げる 応用生命科学特論Ⅰでは、ヒトを対象とした研究を中心に解説する。
応用生命科学特論Ⅱ	研究倫理、ならびに各教員の専門性を凝縮した講義を受講することで、研究や学修の視野、研究遂行に関する知識を広げる 応用生命科学特論Ⅱでは、動物を使用した研究について解説する。
基礎生命科学実習Ⅰ	基礎生命科学実習Ⅰでは、演習を通じて、これまでの学修成果を研究の実践に繋げる。
基礎生命科学実習Ⅱ	基礎生命科学実習Ⅱでは、演習を通じて、これまでの学修成果を研究の実践に繋げる。
応用生命科学実習Ⅰ	応用生命科学実習Ⅰは、演習を通じて、これまでの学修成果を研究の実践に繋げる。
応用生命科学実習Ⅱ	応用生命科学実習Ⅱは、演習を通じて、これまでの学修成果を研究の実践に繋げる。
臨床実践演習	主として臨床での経験が浅い医療従事者を対象として、それぞれの職種に求められる基本的なクリニカルリーズニングとスキルについて代表的な症例を通して身につける。さらに医療・地域で関わる他職種との連携について学修することを目的とする。特に、病態の理解や各種検査結果の解釈を踏まえたアセスメント能力を高め、科学的根拠を念頭に置いた介入計画を立案できることを目標とする。
精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	本講義では「心の健康の維持」や「心の病気の予防」に関する内容もと入れながら、「統合失調症」や「アルコール・薬物依存」「認知症」について概説する。また、現在問題となっている「うつ病と自殺」「発達障害」についても言及する。これにより、精神医学・精神医療の実践知を心理支援に統合させることを促す。

授業科目の名称	講義等の内容
福祉社会科学課題演習	我が国の社会構造の変化に伴い、医療や生活支援が多様化・複雑化している。そのような「福祉」「医療」「心理」における課題を総合的に俯瞰し、ミクロ・メゾ・マクロのレベルの課題を科学的に分析する能力と課題解決能力を得ることを目的とする。本講義は、課題に対し受講生自ら問題点を見いだし、討議を重ね解決していく PBL (Problem Based Learning)方式にて行う。
社会福祉原理論	この講義は、社会福祉が実現すべき地域共生社会のありようについて明確なイメージを得ること及び、地域共生社会を実現するために、社会福祉の理論研究や歴史研究がいかなる課題を見出してきたのかを追究する。社会福祉は個人のウェルビーイングや地域課題の解消を目指す社会システムの1つであるが、それ自体が制度の狭間といった課題を生み出すという限界も合わせもって展開してきた。この講義ではその現実を直視し、その到達点と課題を理解したうえで今後のありようを具体的に議論するための基礎を提供することを目指す。
社会保障政策特論	社会保障は私たちの生活の安定や安心を確保する上で重要な役割を担っているが、少子高齢化や家族のあり方の多様化などの社会経済状況の変化を背景として、さまざまな課題に直面している。 講義では、文献の輪読、報告とディスカッションを通じて、福祉社会の構築を図るために不可欠な社会保障の専門知識を体系的に習得し、政策課題について自らの見解を示すことができるようになることを目指す。テーマとしては、医療保障(医療保険制度、医療提供体制等)、介護保障(介護保険と改革方策)、所得保障(年金制度、公的扶助等)、生活保障(社会保障と雇用の関係)を取り上げ、多角的に分析・考察を行う。さらに、比較の視点から諸外国の社会保障制度・政策について検討し、社会保障のあり方と問題解決策を検討する。
福祉政策特論	日本の福祉政策、あるいは福祉ニーズに対する現金給付・サービス給付という社会のシステムは、今日、どのような社会経済的環境のなかにあり、どのような課題に直面しているであろうか。この講義では、前半部分で、福祉政策を取り巻く今日の環境の把握を目指し、雇用・家族・福祉国家をめぐる政治経済学アプローチについて検討する。後半部分では、福祉政策が直面する今日的課題として、社会的排除／包摂の議論や実態を取り上げる。これらの検討を通して、日本の福祉政策の制度や国民生活をめぐる問題を、今日の社会経済や福祉資本主義のうねりの中に位置づけて把握する視点を養う。
高齢者福祉特論	高齢社会、高齢者福祉の現状と関連する諸課題について、テキスト及び関連文献に基づき、理解と考察をはかる。具体的には、人口高齢化、高齢者と家族・世帯、高齢者と就業・所得、高齢者と学習と社会参加、高齢者と健康・介護等について検討する。
病態医科学特論	主要な疾患の理解には、その病因、病態を深く学ぶことが不可欠である。基礎医学の知識を基にした各種疾患における病理学、病理組織学を学ぶとともに、炎症、腫瘍、循環等の病態生理学への理解を深める。また病態治療に用いるために不可欠な薬理学のメカニズムを身につけ、疾患への深い理解へ結びつけることを目的とする。

授業科目の名称	講義等の内容
病態治療学特論	健康医科学においては、多くの愁訴、疾患を抱えた人々への理解が必要不可欠である。また各種病態の診断、治療は刻々と変化しており、表面的なものでなく病態の深い理解、また最新の診断学、治療法を身につけねばならない。本科目では、幅広い疾患においてその発生機序、病態生理を学ぶことにより、より深い疾患の理解を得る。また、病態に基づいた最新の診断、治療法について具体的な症例を通して学ぶ。
運動器系機能病態解析学特論	筋、神経、関節などの運動器系は理学療法の対象となることが多い。また運動器系の病態に関して、その発症要因や治療法について詳細に理解するためには、分子の役割から病態のメカニズムまで深く理解する必要がある。本講義では、運動器系の機能や病態に関して分子メカニズムから詳細に理解し、運動器系の病態に対する治療とそのメカニズムに関して最新の知見を学ぶ。
神経系機能病態解析学特論	神経機能は運動や感覚、コミュニケーションや記憶・学習など、ヒトが社会において適応的な行動を生み出すための重要な組織である。そして、この神経機能が障害されると、ヒトが生活を営むための機能の喪失、すなわち生活の質の低下に直結する。そのため、神経機能の病態をミクロ～マクロレベルで理解することが、神経疾患患者の社会復帰を促進する上で必要不可欠となる。本講義では、脳をはじめとする神経機能の詳細な理解と解析手法を学ぶことで、神経機能病態を詳細に理解する手法を習得する。
医療工学特論	医療福祉機器の開発や地域産業の活性化を目的に、大学と企業の産学官連携や、医療と工学の医工連携による新しい技術や製品の開発が進められている。本講義では、医療従事者として工学の専門的知識・技術を学び、医療と工学の連携による新しい技術の開発やそれによる地域医療の進歩について深く探究する。さらに、各分野における工学技術を取り入れた医療機器の治療・診断技術の特性、医工連携に関する開発研究について、導入事例を通して学ぶ。
公衆衛生学特論	自然科学としての医学とその応用としての医療は、社会とのつながりの中で人々の役に立つ。現在の我が国は、超高齢社会やがん、メタボリック症候群などの問題に直面している。加えて、世界的には感染症や環境汚染等の未解決の問題が山積しており、その対策への我が国の貢献が期待されている。これらの問題を理解し解決するために必要な公衆衛生学的な考え方の基礎を固めることを目標とする。
臨床実践演習	主として臨床での経験が浅い医療従事者を対象として、それぞれの職種に求められる基本的なクリニカルリーズニングとスキルについて代表的な症例を通して身につける。さらに医療・地域で関わる他職種との連携について学修することを目的とする。特に、病態の理解や各種検査結果の解釈を踏まえたアセスメント能力を高め、科学的根拠を念頭に置いた介入計画を立案できることを目標とする。
精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	本講義では「心の健康の維持」や「心の病気の予防」に関する内容もとり入れながら、「統合失調症」や「アルコール・薬物依存」「認知症」について概説する。また、現在問題となっている「うつ病と自殺」「発達障害」についても言及する。これにより、精神医学・精神医療の実践知を心理支援に統合させることを促す。

授業科目の名称	講義等の内容
福祉社会科学課題演習	我が国の社会構造の変化に伴い、医療や生活支援が多様化・複雑化している。そのような「福祉」「医療」「心理」における課題を総合的に俯瞰し、ミクロ・メゾ・マクロのレベルの課題を科学的に分析する能力と課題解決能力を得ることを目的とする。本講義は、課題に対し受講生自ら問題点を見だし、討議を重ね解決していく PBL (Problem Based Learning)方式にて行う。
社会福祉原理論	この講義は、社会福祉が実現すべき地域共生社会のありようについて明確なイメージを得ること及び、地域共生社会を実現するために、社会福祉の理論研究や歴史研究がいかなる課題を見出してきたのかを追究する。社会福祉は個人のウェルビーイングや地域課題の解消を目指す社会システムの1つであるが、それ自体が制度の狭間といった課題を生み出すという限界も合わせもって展開してきた。この講義ではその現実を直視し、その到達点と課題を理解したうえで今後のありようを具体的に議論するための基礎を提供することを目指す。
社会保障政策特論	社会保障は私たちの生活の安定や安心を確保する上で重要な役割を担っているが、少子高齢化や家族のあり方の多様化などの社会経済状況の変化を背景として、さまざまな課題に直面している。 講義では、文献の輪読、報告とディスカッションを通じて、福祉社会の構築を図るために不可欠な社会保障の専門知識を体系的に習得し、政策課題について自らの見解を示すことができるようになることを目指す。 テーマとしては、医療保障(医療保険制度、医療提供体制等)、介護保障(介護保険と改革方策)、所得保障(年金制度、公的扶助等)、生活保障(社会保障と雇用の関係)を取り上げ、多角的に分析・考察を行う。さらに、比較の視点から諸外国の社会保障制度・政策について検討し、社会保障のあり方と問題解決策を検討する。
福祉政策特論	日本の福祉政策、あるいは福祉ニーズに対する現金給付・サービス給付という社会のシステムは、今日、どのような社会経済的環境のなかにあり、どのような課題に直面しているであろうか。この講義では、前半部分で、福祉政策を取り巻く今日的環境の把握を目指し、雇用・家族・福祉国家をめぐる政治経済学アプローチについて検討する。後半部分では、福祉政策が直面する今日的課題として、社会的排除／包摂の議論や実態を取り上げる。これらの検討を通して、日本の福祉政策の制度や国民生活をめぐる問題を、今日の社会経済や福祉資本主義のうねりの中に位置づけて把握する視点を養う。
高齢者福祉特論	高齢社会、高齢者福祉の現状と関連する諸課題について、テキスト及び関連文献に基づき、理解と考察をはかる。具体的には、人口高齢化、高齢者と家族・世帯、高齢者と就業・所得、高齢者と学習と社会参加、高齢者と健康・介護等について検討する。
児童・家庭福祉特論	児童虐待、少年非行、DVなどの子どもや家庭の問題の現状と課題について取り上げ、その具体的な事例についてアセスメント・プランニングなどケアマネジメントを行い、子どもやその家庭、特に障害者や高齢者を含む多問題家族を対象にした包括的支援についてミクロ・メゾ・マクロの視点から基本的かつ実践的な知識や技術及び倫理について、さらには包括的な支援を展開する上で必要な事業など社会資源のあり方などについて演習を通して学ぶ。

授業科目の名称	講義等の内容
障害者福祉特論	本講義は、障害者福祉をめぐるマクロレベル、メゾレベル、ミクロレベルにおける課題を検討し、その上で課題の緩和や課題に向けていかなる方策があるのかを検討する。政策（マクロ）に関しては、近年の障害者権利条約の影響を受けた日本の障害者政策の課題について取り上げる。メゾについては精神障害や知的障害者の脱施設化の問題を取り上げる。ミクロについては、発達障害やパーソナリティ障害者への支援のあり方について議論する。
生活困窮者支援特論	福祉課題や福祉ニーズに対処するためには、従前は分離して議論されがちであった<政策>もしくは<実践>のいずれかの領域の内に視野を留めるのではなく、法や予算などの政策（マクロ）、事業の計画・運営（メゾ）、個別的な支援実践（ミクロ）といったそれぞれの位相で複層的に捉えて検討する必要がある。 本講義では、生活困窮者等の生活支援システムの課題やあり方の検討をとおして、マクロ・メゾ・ミクロそれぞれの位相から総合的にアプローチする視点と、政策と実践の両面から具体的な課題を分析する能力を得ることを目的とする。
医療福祉特論	保健医療や医療ソーシャルワークにおける基本原則・理論や研究課題を理解することを目的とし、地域包括ケアシステムや緩和ケア・終末期医療等における医療ソーシャルワーカーの役割について学ぶ。講義では、医療ソーシャルワークに関する文献概要のレジュメや事例等に基づいた報告と討論を中心に講義を展開する。
福祉心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	本科目では、虐待、DV、障害者福祉、児童家庭福祉、高齢者福祉、地域福祉について概説しつつ、それぞれに関する心理学的な支援の実践について取り上げる。福祉領域における支援は多岐に渡るが、医療や教育といった関係領域との連携抜きに行うことはできないため、その点についても積極的に学びを展開する。
心理学研究法特論	心理学研究における主要な研究法について詳述するとともに、その研究法に関する内外の学術論文を読解・討議することにより、研究を行う上で必要な専門知識と技能の習得を進める。
臨床心理学研究法特論	臨床心理学における主要な研究法である質的研究法を取り上げ、その特徴と目的、理論と実施方法について詳述する。特に、面接法、グラウンディッド・セオリー・アプローチ、KJ法、複線径路・等至性モデル、事例研究法などについて、実際の研究論文を読み解きながら具体的に学ぶ。また、大学院生自身の研究計画にも敷衍させ、学位論文研究の実践につなげる。
神経生理心理学特論	神経生理心理学の主要な領域・テーマに関する重要かつ先進的な知見を学ぶことを目的として、講義や文献の分析・討議を行う。具体的には、自律神経活動、免疫・内分泌系活動、脳画像に関して検討を深めたのち、脳損傷に関する神経生理心理学的知見について学ぶ。

授業科目の名称	講義等の内容
臨床発達心理学特論	<p>人のこころの発達、身体的発達、認知的発達、社会的発達などが相互に関連しながら、周囲とのかかわりの中で変化していく過程であり、様々な視点から発達理論が構築されている。臨床心理学的な諸問題に関して、発達過程という観点から見直すことは、周囲との関係性の中で個人のこころのあり様がどのように形成され、現在の問題につながっているのかを理解することにつながる。この授業では、人のこころの発達と精神病理について、理論家がどのように理論を構築してきたのか、そして、実際の事例の中で、それらの理論がどのように臨床心理学的理解と支援につながっているかを学ぶ。</p>
健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	<p>心の健康問題と健康教育、ストレスマネジメントなどについて、健康心理学の今日的なトピックスも取り上げながら考える。心の健康の維持増進や、健康教育、ストレスの軽減や対処能力などに関する理論と実際について講義し、議論する。また、講義中でとりあげる心理的健康のテーマに関して、医療、福祉、心理の専門家がどのように協力して支援を展開していくことができるかについても考える。講義とグループ発表、討議などにより授業を進める。</p>
司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	<p>司法・矯正領域における諸問題は、少年非行の問題、児童虐待との関連、発達障害との関連、犯罪被害者支援の問題など広がりを見せている。また、これらの問題は心理だけでは解決せず、医療や福祉等をも視野に入れる必要があるため、司法・犯罪領域ではさまざまな関係機関との連携が求められる現状にある。本講義では、これら司法・犯罪領域において生じる問題及びその背景をふまえながら、司法・犯罪領域における心理社会的課題とその心理的支援のあり方について理解を深め、心理職としてのあり方を実践的に学ぶ。</p>
学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	<p>学校等の教育領域において心理支援を実践するにあたり必要となる専門的な理論や支援技法を学ぶ。具体的には、教育現場の特徴および現状や課題を概観した後、スクールカウンセラーが学校で行う支援、あるいは心理専門職が学校と連携して行う支援について実践的に学ぶ。さらに、心理・福祉・医療の融合を踏まえた「総合的学校臨床」のあり方についても考える。</p>
産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	<p>産業・労働分野における問題や心理職の活動内容を理解し実践できることを目的とする。授業形態は座学と小グループでのディスカッションを中心とする。事例を基にしたグループでの支援計画立案を毎回行うが、その他にロールプレイなどを取り入れ、教員と学生での双方向の意見を述べる。講義で扱う内容は、ストレスチェック、ハラスメント、リワークプログラム、自殺予防、キャリアカウンセリングなど、近年の産業分野の問題を中心に公認心理師や臨床心理士としての関わりや支援方法を扱う。また、医療や福祉等の関連領域との接続についてもとりあげる。</p>

授業科目の名称	講義等の内容
生涯発達心理学特論	<p>発達心理学は、赤ちゃんから高齢者までの時間的変化に伴う心理発達に関する諸事象について明らかにし、発達の課題に対する支援についての知見と方法を提供するものである。本講義では、生涯発達に関する諸事象について、乳幼児期から老年期までの発達段階ごとに、特徴的な心理的課題と支援の在り方について、講義を中心とした授業を行う。本授業は、福祉健康科学の高度専門職・研究職となるにあたって求められる発達に関する深い理解と、発達支援を行う上での考え方や方法について学習を行うものである。</p>
教育心理学特論	<p>教育心理学は、教育の過程の諸事象にみられる事実や法則性を明らかにし、教師の教育的な働きかけをより効果的にするための心理学的な知見と方法を提供する実践科学である。本講義では、教育の事象を、発達、学習・動機づけ、教育評価、学級集団、学校カウンセリング、および障害児（者）の理解と指導に分け、それぞれの理論と方法論だけでなく福祉健康科学の専門職としての教育指導のあり方を考察する。</p>
臨床心理学特論Ⅰ	<p>心理専門職として訓練過程の最初期に習得しておくべき、もっとも基礎的な事項を学ぶ。具体的には、心理専門職としての職務や基本的な資質、倫理、成長過程、心理支援の専門性と独自性などである。また、心理支援の実践においては是非とも意識してもらいたいテーマについても取り上げる。</p>
臨床心理学特論Ⅱ	<p>本授業では、臨床心理学特論Ⅰの学びを発展・深化させることを目的として、各担当教員が専門とする領域・アプローチについての学びを展開する。これにより、多様な心理臨床活動に通底する心理専門職としてのあり方について理解を深める。</p>
臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	<p>心理療法に関するもっとも基本的かつ普遍的な事柄として、心理療法の定義や歴史、また面接者のあり方（姿勢・応答・倫理等）や心理療法の進め方（面接開始から終結に至るプロセス）等を取り上げる。その上で、力動論的アプローチ（精神分析的心理療法等）と認知行動論的アプローチ（認知行動療法）の理論と技法を、事例検討も含めて具体的に学ぶ。</p>
臨床心理面接特論Ⅱ	<p>臨床心理面接特論Ⅰの発展・応用として、要支援者の特徴（年齢や発達段階等）、問題の性質（人格水準や深刻度、問題の現れ方等）、支援の場（医療、福祉、教育等の諸領域）に応じた心理療法の進め方を、事例検討を踏まえつつ具体的に学ぶ。</p> <p>具体的には、児童期の心理療法の代表である遊戯療法、思春期・青年期の心理的特徴を踏まえた心理療法、比較的重篤な問題（人格障害や精神病圏）に対する支持面接の進め方について取り上げる。あわせて、活動領域や機関の役割・特徴を踏まえた心理面接の進め方について考える。</p>

授業科目の名称	講義等の内容
臨床心理査定演習Ⅰ（心理アセスメントに関する理論と実践）	心理専門職の実践における心理的アセスメントの意義、心理的アセスメントに関する理論と方法をふまえた上で、それらを心理に関する相談、助言、指導等へと応用するスキルの習得を目指す。特に施行・解釈にあたって十分な習熟と訓練が必要とされている投影法については、他の性格検査とバッテリーを組んだ模擬事例を分析・解釈すること、また学生自らが実際に複数の性格検査を組み合わせて実施し、結果を整理し、所見を書く作業を重ねることを通して、高度に実践的なパーソナリティのアセスメント能力を養成する。
臨床心理査定演習Ⅱ	心理専門職の実践における心理的アセスメントの意義、心理的アセスメントに関する理論と方法をふまえた上で、それらを心理に関する相談、助言、指導等へと応用するスキルの習得を目指す。特に施行・解釈にあたって十分な習熟と訓練が必要とされている知能・認知機能検査については、提示される模擬事例を分析・解釈すること、また学生自らが実際に知能・認知機能検査を実施し、結果を整理して所見を書く作業を重ねることを通して、被検者の発達のニーズの背景を総合的にアセスメントし、支援計画を提案していく高度に実践的な能力を養成する。
臨床心理基礎実習	臨床心理学的支援の基本である面接について、実習を通して基礎的理論、基礎的技法を学習することで、実践的能力を育てる。具体的には、クライアントの話を傾聴・理解し、応答するという基本的技法について学ぶとともに、ロールプレイによって体験的理解を深める（前期）。その上で、模擬面接と個別指導を実施し、より実践的に学ぶ。
臨床心理展開実習（心理実践実習A）	学内実習施設（心理教育相談室）の一員となって、1年次に学ぶべき心理支援の基本事項を実地に学ぶ。具体的には、心理支援のシステムやルール、相談の運営、要支援者に対してその都度求められる対応等である。また、要支援者に対して心理検査や発達検査、心理面接の実施を指導者と共同で担当する。担当した事例については、綿密な個別指導（スーパービジョン）を繰り返し行うとともに、カンファレンスにおける事例発表でも指導を行う。
臨床心理応用実習A（心理実践実習B）	学外施設（教育領域：教育支援センター、福祉領域：児童相談所もしくは精神保健福祉センター）に出向き、継続的な実習を行う。具体的には、各施設独自の役割や取組を知るとともに、教育領域では不登校や発達障害等、福祉領域では虐待、ひきこもり、精神障害といった問題に対し、指導者の指導・監督のもと、要支援者への支援を担当する。これにより、領域・施設ならではの支援の実践やチーム支援の実践を身を以て学ぶ。
臨床心理応用実習B（心理実践実習C）	学外施設（医療領域：精神科病院）に出向き、継続的な実習を行う。具体的には、各施設独自の役割や取組を知るとともに、様々な心理的疾患に関し、指導者の指導・監督のもと、要支援者への支援を担当する。これにより、領域・施設ならではの支援の実践やチーム支援の実践を身を以て学ぶ。

授業科目の名称	講義等の内容
臨床心理実習 A (心理実践実習 D)	1 年次の基礎的な学びの上に立って、心理教育相談室における検査や心理面接の担当を本格化させる。特に、様々な年齢層や問題に対する支援を数多く担当することによって、要支援者の心理学的理解、要支援者の状況やニーズに応じた支援の組み立て、危機事象への対応、連携やチーム支援、見立てや検査結果を十分活かした支援の展開などの習熟を進め、心理支援の実践知を深化させる。
臨床心理実習 B	臨床心理実習 A において担当した支援事例について、毎回のセッションに関するスーパービジョン（短いスパンでの指導）、一定回数を重ねた上でのカンファレンスでの報告と指導（一定期間での指導）、事例検討会における 1 年の支援実践の省察（長いスパンでの指導）等、様々な形態の指導を組み合わせることで、心理支援のスキルの伸長をはかる。
臨床動作法特論	臨床動作法は、言語ではなく動作を媒介とする日本独自の非常にユニークな臨床心理学的援助技法である。本授業では、臨床動作法の理論や実践について講義・演習を行い、臨床動作法の実施に必要な知識を身につける。また基本的な援助者の態度や技術について学び、修得することも目的とする。授業では、実際の要支援者に対して臨床動作法を実践し、体験的に理解を深める。
集団心理療法特論	本授業は、臨床心理学的な支援方法として集団心理療法的アプローチについて学ぶことを目的とする。集団心理療法の基礎的理論及び、実際の支援方法について体験的に学び、理解を深める。特に、医療・福祉・心理等の視点から発達障害児・者が抱える様々な困難を総合的に理解した上で、臨床心理学的な支援の実践につなげることを目的とする。

8. 担当教員
(健康医科学コース)

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野又はテーマ
教授 朝井 政治	ma-asai	地域医療健康増進科学特論 高齢者疾患特論 臨床実践演習 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	内部障害系理学療法学領域、特に呼吸器疾患を有する症例の理学療法の効果検証に関する研究指導を行う。
教授 浅山 良樹	asayama	医療工学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	放射線医学領域に関する研究指導を行う。
教授 穴井 博文	anaiana	医療工学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床医工学領域に関する研究指導を行う。
教授 安部 隆三	ryuzoabe	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	救急医学領域に関する研究指導を行う。
教授 石崎 敏理	t-ishizaki	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	薬理学領域に関する研究指導を行う。
教授 伊東 弘樹	itoh	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	薬物動態領域に関する研究指導を行う。
教授 猪股 雅史	inomata	医療工学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	消化器外科・小児外科学領域に関する研究指導を行う。
教授 井原 健二	k-ihara	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	小児科学領域に関する研究指導を行う。
教授 今井 浩光	imaih	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	医療倫理学領域に関する研究指導を行う。
教授 上田 貴威	yoshimd	地域医療健康増進科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	総合外科・地域連携学領域に関する研究指導を行う。
教授 上村 尚人	uemura	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床薬理学領域に関する研究指導を行う。

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野又はテーマ
教授 緒方 正男	mogata	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	腫瘍・血液内科学領域に関する研究指導を行う。
教授 小副川 敦	osoegawa-ths	病態治療学特論	呼吸器・乳腺外科学領域に関する研究指導補助を行う。
教授 加来 信広	nobuhiro	病態治療学特論 臨床実践演習 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	整形外科科学領域に関する研究指導を行う。
教授 片岡 晶志	mkataoka	福祉健康科学特論Ⅰ 高齢者疾患特論 病態治療学特論 運動器系機能病態解析学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	運動器領域、特に骨リモデリングに関する研究指導を行う。
教授 河上 敬介	kkawakami	福祉健康科学特論Ⅱ 運動器系機能病態解析学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	基礎理学療法学領域、特に病態を持つ筋への理学療法効果とそのメカニズムに関する研究指導を行う。
教授 河野 憲司	kekawano	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	歯科口腔外科学領域に関する研究指導を行う。
教授 河野 康志	kawayas	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	産科婦人科学領域に関する研究指導を行う。
教授 後藤 孔郎	gotokoro	高齢者疾患特論 病態医科学特論 病態治療学特論 地域医療健康増進科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	内科学領域、特に内分泌代謝学領域に関する研究指導を行う。
教授 小林 隆志	takashik	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	微生物学免疫学領域に関する研究指導を行う。
教授 斉藤 功	saitoi	公衆衛生学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	公衆衛生・疫学領域に関する研究指導を行う。

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野又はテーマ
教授 柴田 洋孝	hiro-405	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学領域に関する研究指導を行う。
教授 秦 聡孝	shintosh	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	腎泌尿器外科学領域に関する研究指導を行う。
教授 駄阿 勉	daatom	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	診断病理学領域に関する研究指導を行う。
教授 高橋 尚彦	takanao	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	循環器内科・臨床検査診断学領域に関する研究指導を行う。
教授 谷川 雅人	tanigawa	運動器系機能病態解析学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	生物物理学領域に関する研究指導を行う。
教授 徳丸 治	ostokuma	健康医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	生理学領域、特に酸化ストレスの病態と抗酸化に関する研究指導を行う。
教授 波多野 豊	hatano	医療工学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	皮膚科学領域に関する研究指導を行う。
教授 花田 俊勝	thanada	健康医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	細胞生物学領域に関する研究指導を行う。
教授 花田 礼子	reiko-hanada	神経系機能病態解析学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	神経生理学領域に関する研究指導を行う。
教授 濱田 文彦	hamadaf1	健康医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	生体構造医学領域に関する研究指導を行う。
教授 平松 和史	hiramats	病態治療学特論	医療安全管理医学領域に関する研究指導を行う。
教授 藤木 稔	fujiki	神経系機能病態解析学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	脳神経外科学領域に関する研究指導を行う。

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野又はテーマ
教授 松浦 恵子	matsuura	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	人間生命医科学領域に関する研究指導を行う。
教授 宮本 伸二	smiyamot	医療工学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	心臓血管外科学領域に関する研究指導を行う。
教授 山岡 吉生	yyamaoka	公衆衛生学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	環境・予防医学領域に関する研究指導を行う。
准教授 阿南 雅也	anan-masaya	運動器系機能病態解析学特論 臨床実践演習 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	運動器理学療法学領域、特に身体運動のバイオメカニクスに関する研究指導を行う。
准教授 伊波 英克	hiha	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	微生物学領域に関する研究指導を行う。
准教授 黒川 竜紀	tkurokawa	病態医科学特論	病態生理学領域に関する研究指導補助を行う。
准教授 下田 恵	shimoda	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	医化学領域に関する研究指導を行う。
准教授 紀 瑞成	ji	健康医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	組織細胞化学領域、特にリンパ学に関する研究指導を行う。
准教授 塩田 星児	sshiota	地域医療健康増進科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	総合診療・総合内科学領域に関する研究指導を行う。
准教授 菅田 陽怜	hsugata	神経系機能病態解析学特論 臨床実践演習 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	基礎理学療法学領域、特に神経科学を基盤とした理学療法の効果検証と開発に関する研究指導を行う。
准教授 泥谷 直樹	hijiya	病態医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	分子病理学領域に関する研究指導を行う。
准教授 松尾 哲孝	matsuon	健康医科学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	マトリックス医学領域に関する研究指導を行う。

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野又はテーマ
准教授 松本 重清	sigekiyo	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	麻酔科学領域に関する研究指導を行う。
准教授 水上 一弘	mizkaz0809	病態治療学特論	消化器内科学領域に関する研究指導補助を行う。
准教授 渡辺 哲生	twatanab	病態治療学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	耳鼻咽喉科学領域に関する研究指導を行う。
講師 大塚 章太郎	otsuka-shotaro	運動器系機能病態解析学特論 臨床実践演習 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	基礎理学療法学領域に関する研究指導を行う。
講師 平川 博文	hira-hiro	神経系機能病態解析学特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	精神神経医学領域に関する研究指導を行う。
講師 萬井 太規	mani-hiroki	神経系機能病態解析学特論 臨床実践演習 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	基礎理学療法学領域、特に姿勢制御・運動制御に関する研究指導を行う。
講師 横山 勝彦	yokoyamak	病態治療学特論	眼科学領域に関する研究指導補助を行う。

(福祉社会科学コース)

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野又はテーマ
教授 中山 慎吾	nakayama-shingo	高齢者福祉特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	ケアの肯定的側面、高齢者福祉等に関する研究指導を行う。
教授 松本 由美	matsumoto-yumi	社会保障政策特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	社会保障に関する研究指導を行う。
教授 滝口 真	makoto-takiguchi	社会福祉原理論 障害者福祉特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	ソーシャルワークおよび障がい者福祉領域に関する研究指導を行う。
准教授 飯田 法子	iida-noriko	福祉健康科学特論Ⅰ 家族・コミュニティ心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践） 児童・家庭福祉特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	福祉心理学、臨床心理学の領域に関する研究指導を行う。
准教授 志賀 信夫	nobu-shiga	福祉社会科学課題演習 福祉政策特論 生活困窮者支援特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	福祉社会学、社会開発、貧困に関する研究指導を行う。
講師 齋藤 建児	k-saito	地域福祉特論 福祉健康科学特論Ⅰ 福祉健康科学特論Ⅱ 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	地域福祉領域に関する研究指導を行う。

(臨床心理学コース)

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野 又はテーマ
教授 河野 伸子	n-kawano	臨床発達心理学特論臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理応用実習A（心理実践実習B） 臨床心理応用実習B（心理実践実習C） 臨床心理実習A（心理実践実習D） 臨床心理実習B 集団心理療法特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床心理学、発達臨床、 心理療法領域に関する 研究指導を行う。
教授 溝口 剛	t-mizo	臨床心理学研究法特論 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅰ（心理アセスメン トに関する理論と実践） 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理応用実習A（心理実践実習B） 臨床心理応用実習B（心理実践実習C） 臨床心理実習A（心理実践実習D） 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床心理学、青年期の 心理臨床、学生相談領 域に関する研究指導を 行う。
教授 渡邊 亘	wwata	福祉健康科学特論Ⅱ 臨床心理学研究法特論 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関す る理論と実践） 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理応用実習A（心理実践実習B） 臨床心理応用実習B（心理実践実習C） 臨床心理実習A（心理実践実習D） 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床心理学、心理療法 領域に関する研究指導 を行う。

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野 又はテーマ
准教授 池永 恵美	m-ikenaga	臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理応用実習A（心理実践実習B） 臨床心理応用実習B（心理実践実習C） 臨床心理実習A（心理実践実習D） 臨床心理実習B 臨床動作法特論 集団心理療法特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床心理学、障害児者心理、臨床動作法領域に関する研究指導を行う。
准教授 中里 直樹	nakazato-naoki	心理学研究法特論 健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践） 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	社会心理学、心理的ウェルビーイング領域に関する研究指導を行う。
准教授 村上 裕樹	murakami-hiroki	神経生理心理学特論 心理学研究法特論 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	実験心理学、情動、神経生理心理学領域に関する研究指導を行う。
講師 志方 亮介	r-shikata	福祉健康科学特論Ⅱ 福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開） 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理応用実習A（心理実践実習B） 臨床心理応用実習B（心理実践実習C） 臨床心理実習A（心理実践実習D） 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習 福祉健康科学特別研究	臨床心理学、福祉臨床、生涯発達支援領域に関する研究指導を行う。

担当教員	メールアドレス @oita-u.ac.jp	担当授業科目名	専門研究分野 又はテーマ
講師 渡邊 晴美	watanabe- harumi	臨床心理学特論 I 学校臨床心理学特論 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習 A） 臨床心理応用実習 A（心理実践実習 B） 臨床心理応用実習 B（心理実践実習 C） 臨床心理実習 A（心理実践実習 D） 臨床心理実習 B	
助教 古長 紗恵	kocho-sae	臨床心理学研究法特論 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習 A） 臨床心理応用実習 A（心理実践実習 B） 臨床心理応用実習 B（心理実践実習 C） 臨床心理実習 A（心理実践実習 D） 臨床心理実習 B 集団心理療法特論	臨床心理学、発達障害 支援領域に関する研究 指導補助を行う。
助教 増田 成美	nmasuda	産業・労働心理学特論（産業・労働分野 に関する理論と支援の展開） 臨床心理面接特論 I（心理支援に関す る理論と実践） 臨床心理応用実習 A（心理実践実習 B） 臨床心理応用実習 B（心理実践実習 C）	臨床心理学、トラウマ 臨床、心理療法領域に 関する研究指導補助を 行う。

CONTENTS

Admission Policy of Oita University Graduate School of Welfare and Health Sciences 56

Diploma Policy of Oita University Graduate School of Welfare and Health Sciences61

Application Guide

1. Number of Students Admitted63

2. Admission Category63

Admissions for International Students

1. Schedule 64

2. Application Requirements 64

3. Application Procedures 65

4. Notes on Application 67

5. Issue of Examination Slip 67

6. Method of Admission Selection 68

7. Announcement of Result 69

General Information

1. Application Requirements Documentation 70

2. Pre-Consultation for Applicants with Disabilities 71

3. Enrollment Procedures 71

4. Enrollment Fees and Tuition Fees 71

5. Additional Acceptance 71

6. Extension of Study Term 72

7. Consideration for Working Students 72

8. Handling of Personal Data 72

9. Scholarships 73

10. Student Research Accident Insurance 73

11. Childcare Support Subsidy	73
12. About the Education and Training Benefit System (General Education and Training) . .	73
About Graduate School of Welfare and Health Sciences	75
1. Outline of the Graduate School	75
2. Term of Study	
3. Requirements for Completion	75
4. Conferral of Degrees	75
5. Course Subjects and Number of Credits	76
6. Overview of Course Subjects	78
7. Course Members	90

Admission Policy of Oita University Graduate School of Welfare and Health Sciences

Principles

Currently in Japan, the support needed is becoming increasingly diverse and complex in accordance with various changes in social conditions. In order to respond to such rapid changes, we will expand expertise in the fields of medicine, welfare, and psychology, in addition to deepening welfare and health science by linking these fields, and train specialists with advanced practical and research skills to help realize a "community-based inclusive society".

Goals of Education and Research

(1) Course of Health and Medical Science

The course fosters clinical and administrative leaders, educators, and researchers who are equipped with the scientific basis for a more comprehensive overview of medicine, welfare, and psychology, who can logically substantiate their own expertise in medical science, physical therapy, etc., and who can lead the construction of a "community-based inclusive society" from the perspective of health and medical science.

(2) Course of Welfare and Social Science

The course fosters leaders who are equipped with a scientific basis for a more comprehensive overview of medicine, welfare, and psychology, and who can logically substantiate their expertise not only in planning systems and policies for building a welfare society but also in practical activities in consultation support and clinical welfare, and who can lead the construction of a "community-based inclusive society" from the perspective of social welfare science, as well as those who are engaged in specialized education and research. The program will foster human resources who are engaged in professional education and research.

(3) Course of Clinical Psychology

The course provides a scientific basis for a more comprehensive overview of medicine, welfare, and psychology, and fosters psychological professionals who have advanced expertise in mental health and psychological support, and can lead the construction of a "community-based inclusive society" from a psychological perspective.

Image of Required Students

(1) Course of Health and Medical Science

Students who have basic knowledge of health and medical science (physical therapy, life science, etc.) and who wish to lead clinical practice, administration, and research related to health and medical science, in addition to being involved in the realization of a "community-based inclusive society".

(2) Course of Welfare and Social Science

Students who have basic knowledge of welfare and social science and wish to lead practice, administration, and research related to welfare and social science, in addition to being involved in the realization of a "community-based inclusive society".

(3) Course of Clinical Psychology

Students who have basic knowledge of psychology and qualities related to clinical psychological support, and who wish to lead psychological support practice and research as a psychological professional, in addition to being involved in the realization of a "community-based inclusive society".

Basic Policy for Admission

In order to select students who meet the aforementioned "Image of Required Students," we seek those who have a basic knowledge of medicine, welfare, or psychology, as well as a desire to learn the significance of their own specialty in the field of social welfare and health science from multiple perspectives based on the philosophy of a "community-based inclusive society".

(1) General Selection (All courses)

The selection process is based on a written examination to test basic knowledge in specialized fields and logical thinking skills, and also on an oral examination to test awareness of issues and the motivation and ability to conduct research.

(2) Selection for Working Students (Course of Health and Medical Science and Course of Welfare and Social Science)

The selection process is based on a written examination to test basic knowledge and logical thinking skills in specialized fields, on an oral examination to test awareness of issues and motivation and ability to conduct research, and also on a document screening to test academic and social experience. In addition, for those recommended by institution where the applicant is currently working (Course of Welfare and Social Science), the results of research and activities at the institution will also be evaluated.

(3) Selection for International Students (Course of Health and Medical Science and Course of Welfare and Social Science)

The selection process is based on a written examination in either English or Japanese to test basic knowledge in specialized fields, and also on an oral examination to test awareness of issues and the motivation and ability to conduct research.

*About "Community-based Inclusive Society"

We define "community-based inclusive society" as "a society in which all people, including those with various problems and difficulties, regardless of the nature of their problems and difficulties and regardless of their age or generation, are able to utilize professional support based on an interdisciplinary approach centering on medicine, welfare, and psychology according to their needs, while respecting their individuality, independence, and the rights of others. It refers to "a society that respects the rights of self and others while creating a community in

which people are connected to each other and recognize the value of each other's diverse existence within the community.

Perspectives to be emphasized in the selective examination

Course of Health and Medical Science

Admission Category			Image of Required Students		
			(1) Persons with basic knowledge of health and medical science. (physiotherapy, life sciences, etc.)	(2) Persons who aim to lead clinical practice, administration, and research related to health and medical science.	(3) Persons who aim to be involved in the realization of a "community-based inclusive society.
General Selection	Written exam	English	◎		
		Essay	○	○	○
	Oral exam	Personal interview		◎	◎
Selection for Working Students	Document screening		○	○	
	Written exam	Essay	○	○	○
	Oral exam	Personal interview		◎	◎
Selection for International Students	Written exam	Specialty	◎	○	
	Oral exam	Personal interview		◎	◎

Course of Welfare and Social Science

Admission Category			Image of Required Students		
			(1) Persons with basic knowledge of welfare and social science.	(2) Persons who aim to lead practice, administration, and research related to the welfare and social science.	(3) Persons who aim to be involved in the realization of a "community-based inclusive society.
General Selection	Written exam	English	◎		
		Specialty	◎		
		Essay	○	○	○
	Oral exam	Personal interview		◎	◎
Selection for Working Students	Document screening		○	○	
	Written exam	Specialty	◎	○	
		Essay	○	○	○
	Oral exam	Personal interview		◎	◎
Selection for Working Students (Institutional Recommendation)	Document screening		○	○	○
	Written exam	Essay	○	○	○
	Oral exam	Personal interview		◎	◎
Selection for International Students	Written exam	Specialty	◎	○	
	Oral exam	Personal interview		◎	◎

Course of Clinical Psychology

Admission Category			Image of Reuired Students		
			(1) Persons with basic knowledge of psychology.	(2) Persons who aim to lead the practice and research of psychological support as a psychological professional.	(3) Persons who aim to be involved in the realization of a "community-based inclusive society.
General Selection	Written exam	English	◎		
		Clinical psychology	◎	○	
		Basic Psychology	◎	○	
	Oral exam	Personal interview		◎	◎

○Important

◎Especially important

Diploma Policy of Oita University Graduate School of Welfare and Health Sciences

Degree Conferral Policy

The Graduate School of Welfare and Health Sciences has set up two policies as its educational objective: "the practical ability to provide the community with multifaceted and comprehensive support with a higher level of expertise" and "the research ability to deepen welfare and health sciences by incorporating medical science." Through their interaction, the school aims to foster pioneers who will understand the concept of "community-based inclusive society" and take charge of its realization from multiple angles.

(1) Diploma Policy 1 (Practical Skills)

By adding the policy of each course to the policy common to the three courses, Diploma Policy 1 for each course is completed.

Policies common to the three courses

In addition to their own areas of specialization, students will have a bird's eye view of medicine, welfare, and psychology, and will acquire the knowledge and skills to provide multifaceted and comprehensive support that relates individuals and communities.

Course of Health and Medical Science

Students acquire specialized knowledge and skills to approach various medical issues from multiple perspectives, with a deep understanding of welfare and health sciences and health and medical science.

Course of Welfare and Social Science

Students gain a deep understanding of welfare and health sciences and social welfare science, and acquire specialized knowledge and skills to approach various welfare-related problems from multiple perspectives and in a comprehensive manner.

Course of Clinical Psychology

Students gain a deep understanding of welfare and health sciences and psychology, and acquire specialized knowledge and skills to approach various problems related to mental health from multiple perspectives.

(2) Diploma Policy 2 (Research Skills)

By adding the policies for each course to the policies common to the three courses, Diploma Policy 2 for each course is completed.

Policies common to the three courses

Students acquire the knowledge and skills necessary to conduct research to deepen welfare and health science by incorporating the perspectives of medical science and its research methods, while building areas of specialization on their own.

Course of Health and Medical Science

Students acquire the knowledge and skills necessary to identify issues related to health and medical science and conduct research for the development of health and medical science.

Course of Welfare and Social Science

Students acquire the knowledge and skills necessary to analyze contemporary welfare issues and community welfare needs, and conduct research for the development of welfare and social science.

Course of Clinical Psychology

Students acquire the knowledge and skills necessary to discover and analyze contemporary issues related to mental health and psychological support, and to conduct research for the development of psychology with a focus on clinical psychology.

Based on the above ideas, degrees will be awarded to those who have acquired the knowledge and skills indicated in Diploma Policies 1 and 2 by building on their studies as one major and as one course, and furthermore, who have passed the examination of their thesis and the final examination. Therefore, the degrees to be awarded for each course are as follows.

- Course of Health and Medical Sciences (Degree: Master of Health and Medical Science)
- Course of Social Welfare and Social Science (Degree: Master of Social Welfare Science)
- Course of Clinical Psychology (Degree: Master of Psychology)

Application Guide

1. Number of Students Admitted

Major	Course	Number of Students
Welfare and Health Sciences	Course of Health and Medical Science Course of Welfare and Social Science Course of Clinical Psychology	20 (Total of all selections)

【Remarks】

Only Course of Health and Medical Science and Course of Welfare and Social Science have admissions for international students.

The number of students admitted is the total of the General Selection, Selection for Working Students, Selection for Working Students (Institutional Recommendation), and Selection for International Students.

2. Admission Category

Major	Course	Admission Category
Welfare and Health Sciences	Course of Health and Medical Science	General Selection, Selection for Working Students, and Selection for International Students.
	Course of Welfare and Social Science	General Selection, Selection for Working Students, Selection for Working Students (Institutional Recommendation), and Selection for International Students.
	Course of Clinical Psychology	General Selection

Admissions for International Students

(Course of Health and Medical Science / Course of Social Welfare Science)

1. Schedule

Type	First	Second
Application Period	Monday, July 28, 2025～ Friday, August 1, 2025	Monday, November 10, 2025～ Friday, November 14, 2025
Date of Examination	Sunday, August 31, 2025	Saturday, December 6, 2025
Announcement of Result	Thursday, September 11, 2025	Wednesday, December 17, 2025

2. Application Requirements

Applicants must fulfill one of the following requirements by the end of March, 2026.

- ① Complete 16 years of school education in a foreign country.
- ② Complete 16 years of school education in a foreign country by taking correspondence courses offered by foreign schools in Japan.
- ③ Complete 12 years of school education in a foreign country (including those specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent thereto) and graduate from a Japanese university.
- ④ Nominated by the Ministry of Education, Culture, Sport and Science and Technology.
- ⑤ International students from countries that do not require 16 years to complete their university education and meet the following conditions: being recognized by the graduate school of this university as having academic ability equivalent or superior to that of a Japanese university graduate, reaching the age of 22 and having been engaged in research as a research student or researcher for one year or more at a university or an equivalent research institution such as an Inter-University Research Institute in Japan or abroad after completing their university education.
- ⑥ Complete 12 years of school education in a foreign country (including those specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent thereto), and reach the age of 22 and be recognized by the graduate school of this university as having academic ability equivalent or superior to a Japanese university graduate through an individual admission eligibility screening.

【Remarks】

Applicants who wish to apply under either ⑤ or ⑥ can apply only when they have been screened and certified as qualified to apply in advance.

Please submit the application documents according to “General Information”.

3. Application Procedures

(1) Application Period


First Period: Monday, July 28, 2025 - Friday, August 1 by 17:00, 2025.

Second Period: Monday, November 10 - Friday, November 14 by 17:00, 2025.

If you send the application by post, send it to the following address by "Express Registered Mail" with "Application for Admission to the Graduate School of Welfare and Health Sciences" written in red ink on the front of the envelope.

Oita University Student Support Division, Admission Office
DannoHaru 700, Oita City, 870-1192, Japan

(2) Documents Required (Documents will not be returned.)

Documents Required	Brief Particulars
① Application for Admission	Please download and use the designated form from the Oita University's website.
② Examination Slip	
③ Proof of Payment Form of Application Fee (30,000JPY)	<p>There are two ways of paying the application fee into the account designated by the university (Each applicant has to pay a fixed commission fee as well.):</p> <p>A. Payment within Japan</p> <p>(1) Paying at a financial institution (including the post office) Please always pay at the teller by using the university's prescribed deposit slip. (Do not use an ATM.) After making the payment, please attach the "Proof of Payment (for Submission to the University)" to the corresponding column on the examination admission card.</p> <p>(2) Paying at a convenience store (available at selected stores only) Request an acceptance code from the URL below and pay at a convenience store. After making the payment, please attach the "Proof of Payment (Convenience Store Receipt)" to the corresponding column on the examination admission card.</p> <p>- To request the code from a PC, visit the university website (URL: https://www.oita-u.ac.jp/) and go to: Top (in Japanese) → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納</p> <p>- To request the code from a mobile phone, visit the URL: https://www.oita-u.net/mobile/ This website cannot be accessed by mobile phones that use a filtering service.</p> <p>* You are responsible for paying the handling charges.</p> <p>* Application fee paid cannot be refunded.</p> 

	<p>B. Payment from Overseas</p> <p>①All bank charges must be paid by the applicant.</p> <p>②Amount to transfer: (¥30,000 application fee) + (¥4,000 Japanese bank handling charges) + *(local bank handling charges)</p> <p>③Please verify the local bank handling charges with your local transferring bank. Some local banks may charge separate handling charges.</p> <p>④ Give the following information to your bank:</p> <p>a kind of remittance : Telegraphic Transfer</p> <p>b method of payment : Advise and Pay</p> <p>c purpose of payment : Application Fee</p> <p>d receiver</p> <p>• bank name : THE OITA BANK, LTD. Bank code No.0183</p> <p>• branch name : SHIKIDO BRANCH Branch code No.069</p> <p>• account number : A/C No. 5261880</p> <p>•account holder: Oita University President Kitano Seigo</p> <p>• bank address : 862-2 Oshino, Oita-shi 870-1121, JAPAN</p> <p>• swift code : OITAJPJT</p> <p>• university address : 700 Dinosaur, Oita-shi 870-1192, JAPAN</p> <p>* If the remitter is not the applicant, write the name of the applicant in the message column..</p> <p>⑤ Stick the copy of the Remittance Application Form on the space allotted below the Examination Admission Card.</p> <p>⑥ State-sponsored international exchange students do not have to pay this application fee.</p>
④Academic Transcripts	<p>Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language. (If these were provided when the preliminary eligibility screening took place, they do not need to be submitted.)</p>
⑤Certificate of Graduation (or scheduled graduation)	
⑥Study Plan	<p>Please download and use the designated form from the Oita University's website. (If these were provided when the preliminary eligibility screening took place, they do not need to be submitted.)</p> <p>Please write in English or Japanese. Applicants to the Social Welfare Sciences Course should attach a Japanese translation if the plan is written in English.</p>
⑦Achievement List	<p>Please submit any achievements related to research, etc. Please download and use the designated form from the Oita University's website.</p> <p>(1) Please attach one copy of each of your major achievements, if any. (up to three copies.) (2) Please attach relevant materials as possible, regarding education, support practices, social activities, etc. which are related to the area you are applying</p>

	for. If these were provided when the preliminary eligibility screening took place, they do not need to be submitted.
⑧ Application Qualification Notice(copy)	Applicants who passed.
⑨ Certificate of Japanese Language Proficiency (Applicants to the Course of Welfare and Social Science)	Transcript of EJUor JLPT (Japanese Language Proficiency Test) N1 or N2
⑩ Resident's Card Specifying Residence Status	Please submit a copy of the certificate of residence issued by the mayor of the city, ward, town or village (with the status of residence and period of stay indicated). Please enter the same name on the application form and other documents as it appears on the copy of the certificate of residence.
⑪ Envelope for Return of Examination Slip	Please write your name, address, and postal code clearly on a commercially available envelope (long size 3 or type 3) and affix a postage stamp (410yen).
⑫ Report on Pre-Consultation (Applicants to the Course of Health and Medical Sciences)	Please download and use the designated form from the Oita University's website. Please write in English or Japanese.
⑬ Address for notification of result	Please download and use the designated form from the Oita University's website.

* Document forms can be downloaded from the following URL.

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

4. Notes on Application

- ① Please be careful not to omit any information on the application form.
- ② The application documents and application fee will not be returned for any reason.
- ③ Applications received after the application period or incomplete application documents will not be accepted.
- ④ All application materials must be submitted in person.
- ⑤ If it is found that there is any discrepancy between the information in the application and the facts, the admission may be revoked even after the applicant has been admitted.
- ⑥ It is not possible to apply for more than one course at the same time.
- ⑦ Before submitting an application, please be sure to consult with the course member about your academic plans and other matters. When consulting, please contact them by e-mail from the list of course instructors shown at the end of this booklet and keep in touch with them thereafter. For the Course of Health and Medical Sciences, please submit a "Report on Pre-Consultation" at the time of application.

5. Issue of Examination Slips

Once application forms and documents have been processed, Examination Slips will be sent to applicants.

If an applicant does not receive the Examination Slip by the day before the examination date, or the Examination Slip is lost, the applicant must come to the examination hall of the examination with the same copy as the photograph used for application.

6. Method of Admission Selection

Date of examination: First term: Sunday, August 31, 2025

Second term: Saturday, December 6, 2025

(1) Examination

Selection will be based on total score of written and oral examination for each course.

① Course of Health and Medical Science

Examination (score)	Subject (score)	Time
Written examination (100)	Specialty (100)	10:55~12:15
Oral examination (200)	Personal Interview (200)	13:10~

【Remarks】

The questions of the "Specialty " will be made to test your understanding of physical therapy, life sciences, etc. (in English)

The "Personal Interview" will be conducted based on the Study Plan and other documents.

② Course of Welfare and Social Science

Examination (score)	Subject (score)	Time
Written examination (100)	Specialty (100)	10:55~12:15
Oral examination (200)	Personal Interview (200)	13:10~

【Remarks】

The questions of the "Specialty " will be made to test your understanding of welfare society, etc. (in Japanese)

The "Personal Interview" will be conducted based on the Study Plan and other documents.

Please come to the examination room by 10:25 a.m. Applicants arriving late will only be able to sit the examination if they arrive within 20 minutes from the start of the examination.

(2) Examination Location

Graduate School of Welfare and Health Sciences

Dannoharu Campus: Dannoharu 700, Oita City, 870-1192, Japan

*In the case of applicants residing abroad who have difficulty in coming to Japan to take the examination, the examination may be administered by alternative means such as an online examination, only when approved by the Graduate School. If you wish to apply, please notify the Admissions Office at the time of application.

7. Announcement of Result

First term: 10:00 Wednesday, September 11, 2025

Second term: 10:00 Wednesday, December 17, 2025

Notice of acceptance will also be sent by post.

Application numbers of successful applicants will appear on the Oita university homepage (<http://www.oita-u.ac.jp/>).

【Remarks】

Telephone enquires will not be accepted regarding the result.

General Information

1. Application Requirements Documentation

Applicants who wish to apply according to either of the application qualifications ⑤ or ⑥ must apply for preliminary eligibility screening with the following documents when requested. (Persons who wish to be certified as qualified for application should consult with the Admissions Office in advance.)

(1) Documents Required (Documents will not be returned)

Documents Required	Brief Particulars
① Qualification Form	Please download and use the designated form from the Oita University's website.
② Certificate of final education	Graduation (completion) certificate and academic transcript. Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language.
③ Study Plan	Please download and use the designated form from the Oita University's website.
④ Research Proposal	Certificate of research student, confirming participation in workshops, seminars, etc. related to the course of study for which you are applying.

* Document forms can be downloaded from the following URL.

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

(2) Submission Period

First Period: Tuesday, July 8 - Tuesday, July 15 by 17:00, 2025

Second Period: Monday, October 20 - Friday, October 24 by 17:00, 2025

(3) Submission Method

Please send by "Express Registered Post" with "Application for Approval of Application Eligibility" written in red ink on the front of the envelope.

(4) Submission Address

Oita University Student Support Division, Admission Office

Dannoharu 700, Oita City, 870-1192, Japan

(5) Results

Results of screening will be available to the applicant by .

First Period: Wednesday, July 23, 2025

Second Period: Wednesday, November 5, 2025

2. Pre-Consultation for Applicants with Disabilities

Applicants with disabilities who may require special consideration in taking the examination or in studying on campus should submit an application for consultation with the following information, along with a doctor's certificate.

(

- Type and details of disability
- Special considerations for entrance examinations
- Special considerations for studying on campus
- Daily living conditions and any other information

)

* Document forms can be downloaded from the following URL.

<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>

First Period: Tuesday, July 15 by 17:00, 2025

Second Period: Tuesday, October 24 by 17:00, 2025

3. Enrollment Procedures

Details of the enrollment procedures will be announced in the "Guide to Enrollment Procedures" sent together with the notification of acceptance.

The enrollment procedure is scheduled in September. Those who do not complete the enrollment procedure on the enrollment procedure date will be treated as those who have declined enrollment.

4. Enrollment Fees and Tuition Fees

Enrollment Fee: 282,000 JPY

Tuition Fees(Annual): 535,800 JPY (First Installment 267,900 JPY, Second Installment 267,900 JPY)

【Remarks】

There is a system of exemption and postponement of collection for the entrance fee, and a system of exemption for the tuition fee. For details, please contact the Scholarship Support Section, Student and International Student Support Division (TEL 097-554-7386).

Admission and tuition fees may be revised. If this occurs, students will be required to pay the revised fees.

Refunds of Enrollment Fees can not be made.

Those who wish to apply for exemption or deferment of the entrance fee must submit the application documents during the enrollment procedure period without paying the entrance fee. However, if the applicant declines to enroll after completing the enrollment procedures, the enrollment fee must be paid immediately.

State Sponsored International Exchange Students are not responsible for Enrollment Fee or Tuition Fee payments.

5. Additional Acceptance

Additional admissions may be notified in response to declinations, etc..Please make sure that we can contact you promptly even if you are not accepted, and that you are able to respond regarding your intention to enroll.

6. Extension of Study Term

This system allows students to obtain a degree by systematically taking and completing courses beyond the standard term of study. The long-term enrollment system is available for students who are employed or have difficulties in completing their studies within the regular enrollment period (e.g., housework, childcare, and nursing care).

In principle, students may apply for this system at the time of enrollment. It is also possible to shorten the term of study depending on changes in study conditions.

Please refer to the "Example of Tuition Payment" below for the tuition fee if you are approved as a long-term enrollment student.

If you wish to extend the period of study after enrollment, you will be charged an additional fee to the total tuition.

The application procedure will be announced later in the acceptance letter.

【Example of Annual tuition fees】 (Tuition fees may be revised)

Standard Study Term (2 YR)

1 YR (535,800JPY)	2 YR (535,800 JPY)	1,071,600 JPY
----------------------	-----------------------	------------------

a) If approved as a 3-year long-term student

1 YR (357,200 JPY)	2 YR (357,200 JPY)	3 YR (357,200 JPY)
-----------------------	-----------------------	-----------------------

b) If approved as a 4-year long-term student

1 YR (267,900 JPY)	2 YR (267,900 JPY)	3 YR (267,900 JPY)	4 YR (267,900 JPY)
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

7. Consideration for Working Students

In consideration of people working in the daytime, classes are offered in the evening to provide them with a favorable learning environment.

8. Handling of Personal Data

In accordance with the "Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Institutions" and the "National University Corporation Oita University Personal Information Protection Policy", the personal information contained in the application documents, etc. will not be used for any purpose other than incidental work related to admission selection and statistical processing. However, in the event that an applicant applies for an entrance fee/tuition fee exemption (deferment) or scholarship, the information will be used as selection materials.

9. Scholarships

The Japan Student Support Organization Scholarship and Loans supports monthly accommodation as follows.

1st Category Graduate School Scholarship (interest free)	Monthly Amount 50,000 JPY or 88,000 JPY
2nd Category Graduate School Scholarship (interest bearing)	Monthly Amount Selected from 50,000 JPY, 80,000 JPY, 100,000 JPY, 130,000 JPY or 150,000 JPY

10. Student Research Accident Insurance

This insurance is designed to cover injuries, deaths, and other disasters resulting from unforeseen accidents that occur during regular classes, school events, and extracurricular activities such as experiments and practical training, as well as during commuting to and from the graduate school. For details, please inquire at the time of admission procedures.

11. Childcare Support Subsidy

To support students in balancing childcare and academic work, Oita University will pay a portion of the cost of childcare support services.

For more details, please contact the Gender Equality Promotion Office (TEL 097-554-8573, E-mail fsupport@oita-u.ac.jp)

12. About the Education and Training Benefit System (General Education and Training)

As of April 1, 2025, this graduate school has been designated as a Ministry of Health, Labor and Welfare designated course under the General Education and Training Benefit System of the Education and Training Benefit System. As of the start date of the course, those who are employed and have been insured under Japan's employment insurance for one year or more, and those who are unemployed and have been insured under Japan's employment insurance for one year or more are eligible. If you apply to the public employment security office that has jurisdiction over your place of residence within one month from the day after the course completion date, 20% of the tuition fee (up to 100,000 yen) will be paid.

For more information, please search for "education and training benefits" on the Ministry of Health, Labor and Welfare.

About Graduate School of Welfare and Health Sciences

1. Outline of the Graduate School

Based on the philosophy of welfare and health sciences, we conduct education and research related to medical care, welfare, and psychology in one major (Welfare and Health Sciences), and have the courses about Health Medical Science, Welfare and Social Sciences, and Clinical Psychology as an organization to conduct specialized education and research.

«Course of Health Medical Science»

The course aims to foster clinical and administrative leaders, educators, and researchers who are equipped with the scientific basis for a more comprehensive overview of medicine, welfare, and psychology, who can logically substantiate their own expertise in medical science, physical therapy, etc., and who can lead the construction of a "community-based inclusive society" from the perspective of health medical science.

«Course of Welfare and Social Sciences»

The course aims to foster personnel who are equipped with the scientific basis for a more comprehensive overview of medicine, welfare, and psychology; who can formulate systems and policies to build a welfare society; who can logically consider consultation support and clinical welfare; who can become leaders in building a "community-based inclusive society" from the perspective of social welfare science; and who can engage in specialized education and research.

«Course of Clinical Psychology»

The course aims to foster psychologists who have a scientific basis for a more comprehensive overview of medical care, welfare, and psychology, have advanced expertise in mental health and psychological support, and can lead the construction of a "community-based inclusive society" from a psychological perspective.

2. Term of study

Two years is the standard.

3. Requirements for Completion

Students must be enrolled in the program for at least two years, acquire a total of at least 30 credits (6 credits in basic subjects, 12 credits in advanced subjects, and 12 credits in research subjects), receive the necessary research guidance, and pass a thesis examination.

4. Conferral of Degrees

Students who have completed Course of Health and Medical Science will be awarded a Master's degree (Health and Medical Science).

Students who have completed Course of Welfare and Social Science will be awarded a Master's degree (Welfare and Social Science).

Students who have completed Course of Clinical Psychology will be awarded a Master's degree (Psychology).

5. Course Subjects

category		subject	credits
Basic		Special Seminar I in Welfare and Health Sciences	2
		Special Seminar II in Welfare and Health Sciences	2
		Advanced lectures on sciences on community medicine and health promotion	2
		Special Seminar in Community Development	2
		Special Seminar on Family, Group and Community Psychology	2
		Social Sciences and Bioethical Science	2
Advanced	Medical-related	Basic biomedical sciences	2
		Advanced lectures on sciences on disease for the elderly	2
		Advanced course of pathology and medicine	2
		Advanced course of pathophysiology and therapeutics	2
		Advanced lectures on pathological analyses of musculoskeletal system	2
		Advanced lectures on pathological analyses of nervous system	2
		Advanced lecture on Biomedical engineering	2
		Public Health and preventive medicine	2
		Seminar in Basic Life Science I	2
		Seminar in Basic Life Science II	2
		Seminar in Applied Life Science I	2
		Seminar in Applied Life Science II	2
		Practice in Basic Life Science I	2
		Practice in Basic Life Science II	2
		Practice in Applied Life Science I	2
		Practice in Applied Life Science II	2
		Advanced practice on Medical Science	2
		Special Seminar on Psychiatry	2
	Welfare-related	Problem Based Learning for Science of Welfare Society	2
		Principles and Philosophy of Social Policy and Social Work	2
		Special Seminar on Social Security	2
		Welfare Policy	2
		Elderly welfare	2
		Special Seminar of Child and family welfare	2
		Social policy and social work for people with disabilities	2
		Self-Support of Needy Person	2
		Social Work in Health Care	2
		Special Seminar on Clinical Psychology in Welfare	2
	Psychology-related	Special Seminar on Methodology of Psychology	2
		Special Seminar on Methodology of Clinical Psychology	2
		Special Seminar on Neuropsychology and Psychophysiology	2

		Special Seminar on Clinical Developmental Psychology	2
		Special Seminar in Health Psychology	2
		Special Seminar in Forensic and Criminal Psychology	2
		Special Seminar on Clinical Psychology in School	2
		Special Seminar on Industrial and Organizational Psychology	2
		Special seminar of life span developmental psychology	2
		Special seminar of educational psychology	2
		Special Seminar on Clinical Psychology I	2
		Special Seminar on Clinical Psychology II	2
		Special Seminar on Clinical Interview I	2
		Special Seminar on Clinical Interview II	2
		Seminar on Assessment of Clinical Psychology I	2
		Seminar on Assessment of Clinical Psychology II	2
		Basic Training in Clinical Psychology	2
		Expansive Training in Clinical Psychology	2
		Advanced Training in Clinical Psychology A	3
		Advanced Training in Clinical Psychology B	2
		Practical Training in Clinical Psychology A	2
		Practical Training in Clinical Psychology B	2
		Special Seminar on Dohsa-hou	2
		Special Seminar on Group therapy	2
		Seminar in Welfare and Health Sciences I ●	2
		Seminar in Welfare and Health Sciences II ●	2
		Seminar in Research I ●	4
		Seminar in Research II ●	4
	Research		

● : required subject

* Some of Psychology-related subjects are available only to students enrolled in Course of Clinical Psychology.

* Subjects may be revised.

6. Overview of course subjects

Subject	Details of Subject
Special Seminar I in Welfare and Health Sciences	The purpose of this graduate school is to train "pioneers who understand the concept of a community-based society and can take on the role of realizing it from multiple perspectives." To do this, it is first necessary to have a solid understanding of the concepts of "welfare and health science" and "community coexistence society," as well as a concrete understanding of the actual practice of related efforts. In this course, at the beginning of the two-year course, students will first learn deeply about "welfare and health science" and "regional coexistence society," with the aim of using this knowledge as a foundation for their future studies.
Special Seminar II in Welfare and Health Sciences	Based on the understanding of "welfare and health science" and "community coexistence society" gained in Special Lecture on Welfare and Health Science I, we will explain how the professional perspectives and techniques of health medical science, social welfare science, and clinical psychology can be used to create "community coexistence society." Students will learn in-depth about how they can help realize the goals while also touching on specific examples of efforts (individual support and local/community support). Furthermore, by combining these perspectives and working together, we will consider measures, qualities, and abilities that will lead to a "community coexistence society." Through this, we will advance the development of knowledge and skills that enable us to take a bird's-eye view of medical care, welfare, and psychology, and provide multifaceted and comprehensive support.
Advanced lectures on sciences on community medicine and health promotion	In this course, in the field of community medicine, students will learn about current community medicine, focusing on case studies of cancer patients. In the field of health promotion, students learn about issues related to health promotion and problem-solving methods through examination of case studies and previous research. Through the above, students will acquire the theory and practical methodology necessary to carry out research on community medicine and health promotion.
Special Seminar in Community Development	In local communities, complex and diversified welfare issues due to social isolation and social exclusion are emerging. Based on the trends in "practice" and "research" related to community coexistence social policies aimed at solving such problems, this subject focuses on the perspectives, methods, related policies, and systems of community welfare practice, using literature and case studies. Learn from. Furthermore, through each session's reports and discussions, we aim to analyze and actively consider various issues related to contemporary community welfare.

Subject	Details of Subject
Special Seminar on Family, Group and Community Psychology	Clinical psychology requires not only individual support for clients, but also a community perspective that supports the whole family, group, and local community. In this class, students will learn about support related to family relationships (including family therapy) and support related to groups, followed by practical learning about collaboration with multiple professions, including medical care and welfare, and the development of comprehensive support.
Social Sciences and Bioethical Science	We will teach you the knowledge and skills necessary to acquire the basic theories needed to proceed with research common to each field.
Basic biomedical sciences	It is essential to understand the structure and function of the normal human body in order to train clinicians and researchers who will provide safe and appropriate medical care to sick patients and conduct scientifically sound life science research. To understand these things, it is necessary to understand basic medical sciences such as anatomy, biochemistry, and physiology. The aim is to gain a bird's-eye view of everything from the basics of basic medicine to the forefront of research, and to learn deeply.
Advanced lectures on sciences on disease for the elderly	In the elderly, functional impairment is brought about by the synergy of physiological aging changes and various diseases. Therefore, comprehensive knowledge about aging and geriatric diseases is essential when considering medical care for the elderly. This tendency is particularly pronounced among the elderly, who require the ability not only to diagnose and evaluate individual diseases and disorders, but also to synthesize them to accurately grasp the overall picture of the patient.
Advanced course of pathology and medicine	To understand major diseases, it is essential to learn deeply about their etiology and pathology. Learn the pathology and histopathology of various diseases based on basic medical knowledge, and deepen your understanding of the pathophysiology of inflammation, tumors, circulation, etc. The students also aim to acquire the pharmacological mechanisms essential for the treatment of pathological conditions, which will lead to a deeper understanding of the disease.

Subject	Details of Subject
Advanced course of pathophysiology and therapeutics	In health and medical science, it is essential to understand people who suffer from many complaints and diseases. In addition, the diagnosis and treatment of various pathological conditions are constantly changing, so it is necessary to have a deep understanding of pathological conditions, not just a superficial one, and to acquire the latest diagnostics and treatment methods. In this subject, students will gain a deeper understanding of a wide range of diseases by learning about their developmental mechanisms and pathophysiology. In addition, students will learn about the latest diagnosis and treatment methods based on pathological conditions through specific cases..
Advanced lectures on pathological analyses of musculoskeletal system	Muscles, nerves, joints, and other motor systems are often targeted for physical therapy. In addition, in order to understand in detail the causes and treatment methods for pathological conditions in the motor system, it is necessary to deeply understand everything from the role of molecules to the mechanisms of pathological conditions. In this lecture, you will gain a detailed understanding of the molecular mechanisms of the functions and pathologies of the musculoskeletal system, and learn the latest findings regarding treatments and mechanisms for pathologies of the musculoskeletal system.
Advanced lectures on pathological analyses of nervous system	Nervous function is an important organization for humans to produce adaptive behavior in society, including movement, sensation, communication, memory, and learning. When this neurological function is impaired, it directly leads to loss of the functions required for human life, that is, a decline in quality of life. Therefore, understanding the pathology of neurological function at a micro- to macro-level is essential to promoting the social reintegration of neurological disease patients. In this lecture, you will learn techniques for understanding and analyzing neurological functions, including those of the brain, in detail, and will learn techniques for understanding neural functional pathologies in detail.
Advanced lecture on Biomedical engineering	With the aim of developing medical welfare equipment and revitalizing local industries, new technologies and products are being developed through industry-academia-government collaboration between universities and companies, as well as medical and engineering collaboration. In this lecture, students will learn specialized engineering knowledge and techniques as medical professionals, and deeply explore the development of new technology through collaboration between medicine and engineering and the progress made in local medical care. Furthermore, students will learn about the characteristics of medical device treatment and diagnostic technology that incorporates engineering technology in each field, as well as research and development related to medical-engineering collaboration, through implementation examples.

Subject	Details of Subject
Public Health and preventive medicine	Medicine as a natural science and medicine as its application serve people in connection with society. Currently, Japan is facing problems such as a super-aging society, cancer, and metabolic syndrome. In addition, there are many unresolved problems around the world, such as infectious diseases and environmental pollution, and Japan is expected to contribute to countermeasures. The goal is to solidify the foundation of public health thinking necessary to understand and solve these problems.
Seminar in Basic Life Science I	Learn the medical English vocabulary necessary to advance research, and develop reading and writing skills for understanding and writing English papers.
Seminar in Basic Life Science II	Acquire medical English vocabulary and develop English speaking and listening skills that will enable you to give poster and oral presentations at academic conferences.
Seminar in Applied Life Science I	By attending lectures on research ethics and condensing the expertise of each faculty member, you can expand your knowledge of research and learning perspectives and research execution. In this lecture, we will mainly explain research on humans.
Seminar in Applied Life Science II	By attending lectures on research ethics and condensing the expertise of each faculty member, you can expand your knowledge of research and learning perspectives and research execution. In this lecture, we will mainly explain animal experiment.
Practice in Basic Life Science I	Through exercises, students will connect their learning results to research practice.
Practice in Basic Life Science II	Through exercises, students will connect their learning results to research practice.
Practice in Applied Life Science I	Through exercises, students will connect their learning results to research practice.
Practice in Applied Life Science II	Through exercises, students will connect their learning results to research practice.
Advanced practice on Medical Science	Primarily aimed at medical professionals with little clinical experience, this course teaches the basic clinical understanding and skills required for each profession through representative cases. Furthermore, the purpose is to learn about collaboration with other professions involved in medical care and the community. In particular, the goal is to improve assessment skills based on understanding pathological conditions and interpreting various test results, and to be able to formulate intervention plans with scientific evidence in mind.

Subject	Details of Subject
Special Seminar on Psychiatry	This lecture will provide an overview of "schizophrenia," "alcohol/drug dependence," and "dementia," while also incorporating content on "maintaining mental health" and "preventing mental illness." He will also touch on the current issues of depression and suicide, as well as developmental disorders. This will encourage the integration of practical knowledge from psychiatry and mental health care into psychological support.
Problem Based Learning for Science of Welfare Society	As Japan's social structure changes, medical care and lifestyle support are becoming more diverse and complex. The purpose of this course is to gain a comprehensive overview of such issues in "welfare," "medical care," and "psychology," and to acquire the ability to scientifically analyze and problem-solve issues at the micro, meso, and macro levels. This lecture will be conducted using the PBL (Problem Based Learning) method, in which students will identify problems on their own and solve them through discussion.
Principles and Philosophy of Social Policy and Social Work	This lecture aims to gain a clear image of the type of community-based society that social welfare should realize, and to discuss what kinds of issues theoretical and historical research on social welfare has uncovered in order to realize a community-based society. Pursue. Social welfare is a social system that aims to improve individual well-being and resolve regional issues, but it has also developed its own limitations in that it creates issues such as gaps between systems. In this lecture, we will look directly at this reality, understand its goals and challenges, and aim to provide a basis for discussing concretely what the future holds.
Special Seminar on Social Security	Social security plays an important role in ensuring the stability and security of our lives, but it is facing various challenges against the backdrop of changes in the socio-economic situation, such as the declining birthrate and aging population, and the diversification of family structures. confronting. In the lectures, through reading of literature, reports, and discussions, students will systematically acquire specialized knowledge on social security that is essential for building a welfare society, and will be able to express their own views on policy issues. aim. The themes include medical security (medical insurance system, medical provision system, etc.), nursing care security (nursing care insurance and reform measures), income security (pension system, public assistance, etc.), and livelihood security (the relationship between social security and employment). We will take up the topic and analyze and consider it from multiple angles. Furthermore, we will examine social security systems and policies in other countries from a comparative perspective, and consider the state of social security and solutions to problems.

Subject	Details of Subject
Welfare Policy	<p>What kind of socio-economic environment is Japan's welfare policy, or its social system of cash and service payments for welfare needs, in today, and what challenges does it face? In the first part of this lecture, we aim to understand the current environment surrounding welfare policy and examine political economy approaches surrounding employment, family, and the welfare state. In the second half, we will discuss the debate and actual situation of social exclusion/inclusion as a contemporary issue facing welfare policy. Through these examinations, students will develop a perspective to understand issues surrounding Japan's welfare policy system and people's lives by positioning them in the context of today's social economy and welfare capitalism.</p>
Special Seminar of Child and family welfare	<p>We will discuss the current status and issues of child and family problems such as child abuse, juvenile delinquency, and domestic violence, and provide care management such as assessment and planning for specific cases. Basic and practical knowledge, technology, and ethics from micro, meso, and macro perspectives regarding comprehensive support for troubled families, as well as the state of social resources such as business necessary to develop comprehensive support. Learn about these things through exercises.</p>
Social policy and social work for people with disabilities	<p>This lecture will examine issues surrounding the welfare of people with disabilities at the macro, meso, and micro levels, and then consider what measures can be taken to alleviate and address the issues. Regarding policy (macro), we will discuss issues in Japan's policies for persons with disabilities, which have been influenced by the recent Convention on the Rights of Persons with Disabilities. Regarding mezzo, we will discuss the issue of deinstitutionalization of people with mental disabilities and intellectual disabilities. On the micro level, we will discuss how to support people with developmental disorders and personality disorders.</p>
Self-Support of Needy Person	<p>In order to address welfare issues and needs, rather than focusing on either policy or practice, which have traditionally been discussed separately, we need to focus on laws, budgets, and other areas. It is necessary to consider and consider multiple aspects of each phase, including policy (macro), business planning and management (mezzo), and individual support practices (micro).</p> <p>In this lecture, we will examine issues and the ideal form of livelihood support systems for people living in poverty, using a comprehensive approach from the macro, meso, and micro phases, as well as addressing specific issues from both policy and practice. The purpose is to acquire the ability to analyze.</p>

Subject	Details of Subject
Social Work in Health Care	The purpose of this course is to understand the basic principles, theories, and research topics in health care and medical social work, and learn about the role of medical social workers in integrated community care systems, palliative care, end-of-life care, etc. The lectures will focus on reports and discussions based on resumes and case studies of literature related to medical social work.
Special Seminar on Clinical Psychology in Welfare	This subject provides an overview of abuse, domestic violence, welfare for the disabled, child and family welfare, welfare for the elderly, and community welfare, and discusses the actual psychological support for each. Although support in the welfare field is wide-ranging, it cannot be provided without collaboration with related fields such as medical care and education, so we will actively develop learning in this regard as well.
Special Seminar on Methodology of Psychology	In addition to explaining in detail the main research methods in psychological research, students will acquire the specialized knowledge and skills necessary to conduct research by reading and discussing domestic and foreign academic papers related to those research methods.
Special Seminar on Methodology of Clinical Psychology	This course will focus on qualitative research methods, which are the main research methods in clinical psychology, and will explain in detail its characteristics, purpose, theory, and implementation methods. In particular, students will learn concretely about the interview method, grounded theory approach, KJ method, double-track route model, equidistant model, case study method, etc. while reading actual research papers. It will also be extended to graduate students' own research plans, leading to the implementation of their dissertation research.
Special Seminar on Neuropsychology and Psychophysiology	We will conduct lectures and analyze and discuss literature with the aim of learning important and advanced knowledge regarding the major areas and themes of neurophysiological psychology. Specifically, after deepening consideration of autonomic nerve activity, immune/endocrine system activity, and brain imaging, students will learn about neurophysiological and psychological findings regarding brain injury.

Subject	Details of Subject
Special Seminar on Clinical Developmental Psychology	Human mental development is a process in which physical development, cognitive development, social development, etc. are interconnected and change as a result of interactions with the surroundings, and developmental theories have been constructed from various perspectives. ing. Reconsidering various clinical psychological issues from the perspective of the developmental process allows us to understand how an individual's mental state is formed in their relationships with their surroundings, and how this is connected to current problems. This leads to things. In this class, we will discuss how theorists have developed theories about human psychological development and psychopathology, and how these theories can be applied to clinical psychological understanding and support in actual cases. Learn how it is connected to.
Special Seminar in Health Psychology	We will discuss mental health issues, health education, stress management, etc. while also covering current topics in health psychology. Lectures and discussions will be held on the theory and practice of maintaining and promoting mental health, health education, stress reduction, and coping skills. We will also consider how medical, welfare, and psychological experts can work together to provide support regarding the topic of psychological health that will be discussed in the lectures. Classes proceed through lectures, group presentations, and discussions.
Special Seminar in Forensic and Criminal Psychology	Problems in the field of justice and corrections are expanding, including juvenile delinquency, child abuse, developmental disorders, and support for crime victims. In addition, these problems cannot be solved by psychology alone; it is also necessary to consider medical care, welfare, etc., and the current situation requires collaboration with various related organizations in the judicial and criminal fields. In this lecture, we will deepen our understanding of psychosocial issues in the judicial and criminal fields and how to provide psychological support for them, while taking into account the problems that arise in the judicial and criminal fields and their backgrounds, and learn practical ways to work as a psychologist.
Special Seminar on Clinical Psychology in School	Learn the specialized theories and support techniques necessary to practice psychological support in the educational field such as schools. Specifically, after taking an overview of the characteristics, current situation, and issues of educational settings, students will learn about the support that school counselors provide in schools, or the support that psychologists provide in collaboration with schools. Furthermore, we will consider the ideal form of "comprehensive school clinical practice" based on the fusion of psychology, welfare, and medicine.

Subject	Details of Subject
Special Seminar on Industrial and Organizational Psychology	<p>The aim is to help students understand and put into practice problems in the industrial and labor fields and the activities of psychologists. Classes consist mainly of classroom lectures and small group discussions. In each class, support plans are drawn up in groups based on case studies, but we also incorporate role-playing and other activities to allow teachers and students to express their opinions interactively. The lectures will focus on recent industrial issues such as stress checks, harassment, rework programs, suicide prevention, and career counseling, as well as the involvement and support methods of certified psychologists and clinical psychologists. We will also discuss connections with related fields such as medical care and welfare.</p>
Special seminar of life span developmental psychology	<p>Developmental psychology clarifies the various phenomena related to psychological development that accompany the temporal changes from infants to the elderly, and provides knowledge and methods for supporting developmental issues. In this lecture, we will focus on lectures on various phenomena related to lifelong development, including characteristic psychological issues and support methods for each developmental stage from infancy to old age. In this class, students will learn about the deep understanding of development required to become a highly skilled professional or researcher in the welfare and health sciences, as well as the ways of thinking and methods for providing developmental support.</p>
Special seminar of educational psychology	<p>Educational psychology is a practical science that clarifies the facts and rules found in various phenomena in the educational process and provides psychological knowledge and methods to make teachers' educational efforts more effective. . In this lecture, we will divide educational phenomena into development, learning/motivation, educational evaluation, class groups, school counseling, and understanding and guidance of children with disabilities, and will discuss not only the theories and methodologies of each, but also the welfare and health sciences. Consider how educational guidance should be as a profession.</p>
Special Seminar on Clinical Psychology I	<p>Learn the most basic matters that you should master at the beginning of your training process as a psychologist. Specifically, these include the duties and basic qualifications of a psychological professional, ethics, growth process, and the specialty and uniqueness of psychological support. We will also discuss themes that people should be aware of in the practice of psychological support.</p>
Special Seminar on Clinical Psychology II	<p>In this class, with the aim of developing and deepening the learning of Special Course in Clinical Psychology I, we will develop learning about the areas and approaches that each instructor specializes in. Through this, we will deepen our understanding of the role of the psychological profession, which is fundamental to a variety of psychological clinical activities.</p>

Subject	Details of Subject
Special Seminar on Clinical Interview I	<p>As the most basic and universal matters related to psychotherapy, we will cover the definition and history of psychotherapy, the role of the interviewer (posture, response, ethics, etc.), and the process of psychotherapy (the process from the start of the interview to the end). . On top of that, students will specifically learn the theories and techniques of dynamic approaches (psychoanalytic psychotherapy, etc.) and cognitive behavioral approaches (cognitive behavioral therapy), including case studies.</p>
Special Seminar on Clinical Interview II	<p>As a development and application of Clinical Psychology Interview I, we will examine the characteristics of the person requiring support (age, developmental stage, etc.), the nature of the problem (personality level and severity, how the problem appears, etc.), and the setting of support (medical, welfare, etc.). Students will learn concretely how to proceed with psychotherapy according to various fields (such as education, etc.) based on case studies.</p> <p>Specifically, we will focus on play therapy, which is a typical childhood psychotherapy, psychotherapy based on the psychological characteristics of adolescence and young adulthood, and how to proceed with supportive interviewing for relatively serious problems (personality disorders and psychotic disorders). I will discuss about. At the same time, we will consider how to proceed with psychological interviews based on the field of activity and the role and characteristics of the institution.</p>
Seminar on Assessment of Clinical Psychology I	<p>Based on the significance of psychological assessment in the practice of psychological professions, as well as theories and methods related to psychological assessment, the aim is to acquire the skills to apply them to psychological consultation, advice, guidance, etc. In particular, regarding the projection method, which requires sufficient proficiency and training in administering and interpreting, it is important to analyze and interpret mock cases that are combined with other personality tests, and to have students actually take multiple personality tests themselves. Develop highly practical personality assessment skills by conducting multiple tests, organizing the results, and writing down your findings.</p>

Subject	Details of Subject
Seminar on Assessment of Clinical Psychology II	Based on the significance of psychological assessment in the practice of psychological professions, as well as theories and methods related to psychological assessment, the aim is to acquire the skills to apply them to psychological consultation, advice, guidance, etc. In particular, regarding intelligence and cognitive function tests, which require sufficient proficiency and training in administering and interpreting them, it is important for students to analyze and interpret the simulated cases presented, and to have students actually conduct the intelligence and cognitive function tests themselves. By repeatedly organizing the results and writing down the findings, students develop highly practical abilities to comprehensively assess the background of the developmental needs of the examinee and propose support plans.
Basic Training in Clinical Psychology	Students will develop practical abilities by learning the basic theory and techniques of interviews, which are the basis of clinical psychological support, through practical training. Specifically, in addition to learning the basic techniques of listening, understanding, and responding to clients, students deepen their understanding through role play (first semester). After that, we will conduct mock interviews and individual guidance to learn more practically.
Expansive Training in Clinical Psychology	Become a member of the on-campus training facility (psychological education counseling room) and learn the basics of psychological support that you should learn in your first year. Specifically, the system and rules for psychological support, the management of consultations, and the responses required on a case-by-case basis for those in need of support. In addition, they will be in charge of conducting psychological tests, developmental tests, and psychological interviews for those who require support, in collaboration with their instructors. For the cases in which they have been assigned, they will repeatedly provide detailed individual guidance (supervision), as well as provide guidance during case presentations at conferences.
Advanced Training in Clinical Psychology A	Students will go to off-campus facilities (education area: Educational Support Center, welfare area: Child Guidance Center or Mental Health and Welfare Center) and conduct continuous training. Specifically, in addition to learning about the unique roles and initiatives of each facility, under the guidance and supervision of instructors, students will be able to deal with problems such as truancy and developmental disorders in the education field, and abuse, social withdrawal, and mental disorders in the welfare field. Responsible for providing support to those in need. Through this, students will learn first-hand the practice of support unique to their field/facility and the actual team support.

Subject	Details of Subject
Advanced Training in Clinical Psychology B	Students will go to off-campus facilities (medical field: psychiatric hospital) and conduct continuous training. Specifically, they will learn about the unique roles and initiatives of each facility, and will be in charge of providing support to people who need support under the guidance and supervision of instructors regarding various psychological disorders. Through this, students will learn first-hand the practice of support unique to their field/facility and the actual team support.
Practical Training in Clinical Psychology A	Building on the basic learning of the first year, students will become fully responsible for conducting tests and psychological interviews in the Psychoeducation Counseling Room. In particular, by being in charge of a large number of supports for various age groups and problems, we are able to understand the psychology of those who need support, organize support according to the situation and needs of those who need support, respond to crisis events, and support collaboration and teams. Students will deepen their practical knowledge of psychological support by gaining proficiency in developing support that makes full use of the approximations and test results.
Practical Training in Clinical Psychology B	Regarding the support cases handled in clinical psychology training A, supervision of each session (guidance in a short span), reporting and guidance at a certain number of conferences (guidance over a certain period of time), and case review meetings. By combining various forms of instruction, such as reflection on one year's support practice (guidance over a long span), we aim to develop psychological support skills.
Special Seminar on Dohsa-hou Special Seminar on Group therapy	Clinical movement method is a very unique clinical psychological support technique unique to Japan that uses movement rather than language as the medium. In this class, we will provide lectures and exercises on the theory and practice of clinical movement methods, and students will acquire the knowledge necessary to implement clinical movement methods. The purpose is also to learn about and acquire the basic attitudes and techniques of helpers. In class, students will practice clinical movement methods on actual people who require support and deepen their understanding through experience. The purpose of this class is to learn about the group psychotherapy approach as a clinical psychological support method. Learn experientially and deepen your understanding of the basic theory of group psychotherapy and practical support methods. In particular, the aim is to gain a comprehensive understanding of the various difficulties faced by children and people with developmental disabilities from medical, welfare, and psychological perspectives, and to link this to the practice of clinical psychological support.

7. Course Members

Course of Health and Medical Science

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Masaharu Asai	ma-asai	Advanced lectures on sciences on community medicine and health promotion Advanced lectures on sciences on disease for the elderly Advanced practice on Medical Science
		Physical Therapy for Internal Dysfunction, Especially Respiratory Dysfunction
Yoshiki Asayama	asayama	Advanced lecture on biomedical engineering
		Radiology
Hirofumi Anai	anaiana	Advanced lecture on biomedical engineering
		Artificial Organs and Mechanical Circulatory Assist
Ryuzo Abe	ryuzoabe	Advanced course of pathology and medicine
		Emergency and Critical Care Medicine
Toshimasa Ishizaki	t-ishizaki	Advanced course of pathology and medicine
		Cell Biology for Drug Discovery
Hiroki Ito	itoh	Advanced course of pathology and medicine
		Pharmacokinetics
Masafumi Inomata	inomata	Advanced lecture on biomedical engineering
		Gastroenterological and Pediatric Surgery
Kenji Ihara	k-ihara	Advanced course of pathology and medicine
		Pediatrics
Hiromitsu Imai	imaih	Advanced course of pathology and medicine
		Medical Ethics
Yoshitaka Ueda	yoshimd	Advanced lectures on sciences on community medicine and health promotion
		Comprehensive Surgery for Community Medicine
Naoto Uemura	uemura	Advanced course of pathology and medicine
		Clinical Pharmacology and Therapeutics(CPT)
Masao Ogata	mogata	Advanced course of pathology and medicine
		Medical Oncology and Hematology
Atsushi Osoegawa	osoegawa-ths	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
Nobuhiro Kaku	nobuhiro	Advanced course of pathophysiology and therapeutics Advanced practice on medical science
		Orthopaedic surgery
Masashi Kataoka	mkataoka	Special Seminar I in welfare and health sciences Advanced lectures on sciences on disease for the elderly Advanced course of pathophysiology and therapeutics Advanced lectures on pathological analyses of musculoskeletal system
		Locomotion, Especially Bone Remodeling

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Keisuke Kawakami	kkawakami	Special Seminar II in welfare and health sciences Advanced lectures on pathological analyses of musculoskeletal system
		Physical Therapy Fundamentals
Kenji Kawano	kekawano	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Oral and Maxillofacial Surgery
Yasushi Kawano	kawayas	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
Koro Gotoh	gotokoro	Advanced lectures on sciences on disease for the elderly Advanced course of pathology and medicine Advanced course of pathophysiology and therapeutics Advanced lectures on sciences on community medicine and health promotion
		Endocrinology and Metabolism
Takashi Kobayashi	takashik	Advanced course of pathology and medicine
		Parasitology and Immunology
Isao Saito	saitoi	Public health and preventive medicine
		Public Health and Epidemiology
Hirotaka Shibata	hiro-405	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Endocrinology, Metabolism, Rheumatology and Nephrology
Toshitaka Shin	shintosh	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Urology
Tsutomu Daa	daatom	Advanced course of pathology and medicine
		Diagnostic Pathology
Naohiko Takahashi	takanao	Advanced course of pathology and medicine
		Cardiology and Clinical Examination
Masato Tanigawa	tanigawa	Advanced lectures on pathological analyses of musculoskeletal system
		Biophysics
Osamu Tokumaru	ostokuma	Basic biomedical sciences
		Physiology
Yutaka Hatano	hatano	Advanced lecture on biomedical engineering
		Dermatology
Toshikatsu Hanada	thanada	Basic biomedical sciences
		Disease Biology
Reiko Hanada	reiko-hanada	Advanced lectures on pathological analyses of nervous system
		Neurophysiology
Fumihiko Hamada	hamadaf1	Basic biomedical sciences
		Anatomy and Cell Biology
Kazufumi Hiramatsu	hiramats	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Medical Safety Management

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Minoru Fujiki	fujiki	Advanced lectures on pathological analyses of nervous system
		Neurosurgery
Keiko Matsuura	matsuura	Advanced course of pathology and medicine
		Medical Life Science
Shinji Miyamoto	smiyamot	Advanced lecture on biomedical engineering
		Cardiovascular Surgery
Yoshio Yamaoka	yyamaoka	Public health and preventive medicine
		Environmental and Preventive Medicine
Masaya Anan	anan-masaya	Advanced lectures on pathological analyses of musculoskeletal system Advanced practice on Medical Science
		Musculoskeletal Physical Therapy and Biomechanics
Hidekatsu Iha	hiha	Advanced course of pathology and medicine
		General Virology
Tatsuki Kurokawa	tkurokawa	Advanced course of pathology and medicine
		Pathophysiology
Kei Shimoda	shimoda	Advanced course of pathology and medicine
		Biomedical Chemistry
Ji Rui-cheng	ji	Basic biomedical sciences
		Histocytochemistry and Lymphology
Seiji Shiota	sshiota	Advanced lectures on sciences on community medicine and health promotion
		General Medicine and Community Medicine
Hisato Sugata	hsugata	Advanced lectures on pathological analyses of nervous system Advanced practice on medical science
		Fundamental Physical Therapy, Particularly Verification of the Effectiveness and Development of Neuroscience-based physical Therapy
Naoki Hijiya	hijiya	Advanced course of pathology and medicine
		Molecular Pathology
Noritaka Matsuo	matsuon	Advanced course of pathology and medicine
		Matrix Medicine
Shigekiyo Matsumoto	sigekiyo	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Anesthesiology and Intensive Care Medicine
Kazuhiro Mizukami	mizkaz0809	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Gastroenterology
Tetsuo Watanabe	twatanab	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Otolaryngology and Head and Neck Surgery

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Shotaro Otsuka	otsuka-shotaro	Advanced practice on Medical Science
		Physical Therapy Fundamentals, Neurobehavioral Science and Molecular Neurobiology
Hirofumi Hirakawa	hira-hiro	Advanced lectures on pathological analyses of nervous system
		Neuropsychiatry
Hiroki Mani	mani-hiroki	Advanced lectures on pathological analyses of nervous system
		Advanced practice on medical science
		Physical Therapy Fundamentals, Motor control and Postural Control
Katsuhiko Yokoyama	yokoyamak	Advanced course of pathophysiology and therapeutics
		Ophthalmology

Course of Welfare and Social Science

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Shingo Nakayama	nakayama- shingo	Social Work in Health Care
		Elderly Welfare, Positive Aspects of Care and Social Work
		Social Work in Health Care
Yumi Matsumoto	matsumoto- yumi	Special seminar on social security
		Social Security
Makoto Takiguchi	makoto- takiguchi	Principles and philosophy of social policy and social work Social policy and social work for people with disabilities
		Social Work for People with Disabilities
Noriko Iida	iida-noriko	Special seminar I in welfare and health sciences Special seminar of child and family welfare Special seminar on family, group and community psychology
		Clinical Psychology of Welfare
Nobuo Shiga	nobu-shiga	Problem based learning for science of welfare Self-support of needy person welfare policy
		Theory of Poverty and Social Policy
Kenji Saito	k-saito	Special seminar in community development Special seminar I in welfare and health sciences Special seminar II in welfare and health sciences
		Community Development

Course of Clinical Psychology

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Nobuko Kawano	n-kawano	Special seminar on clinical developmental psychology Special seminar on clinical psychology II Special seminar on group therapy
		Developmental Psychology, Clinical Psychology, and Psychotherapy
Tsuyoshi Mizoguchi	t-mizo	Special seminar on methodology of clinical psychology Special seminar on clinical psychology I Seminar on assessment of clinical psychology I Seminar on assessment of clinical psychology II
		Clinical Psychology, Adolescent Clinical Psychology, and Student Counseling
Wataru Watanabe	wwata	Special seminar II in welfare and health sciences Special seminar on methodology of clinical psychology Special seminar on clinical psychology I Special seminar on clinical interview I Special seminar on clinical interview II
		Clinical Psychology and Psychotherapy
Megumi Ikenaga	m-ikenaga	Special seminar on clinical psychology II Special seminar on group therapy Special seminar on Dohsa-hou
		Clinical Psychology, Psychology for Adults and Children with Disabilities, and Clinical Dohsa-hou
Naoki Nakazato	nakazato-naoki	Special seminar in health psychology Special seminar on methodology of psychology
		Social Psychology and Subjective Well-being
Hiroki Murakami	murakami-hiroki	Special seminar on neuropsychology and psychophysiology Special seminar on methodology of psychology
		Experimental Psychology, Psychology of Emotions, and Neuro and Physiological Psychology
Ryosuke Shikata	r-shikata	Special seminar II in welfare and health sciences Special seminar on family, group and community psychology Special seminar on clinical psychology in welfare
		Clinical Psychology and Welfare Psychology
Harumi Watanabe	watanabe-harumi	Special seminar on clinical psychology I Special seminar on clinical psychology in school
		Clinical Psychology and Clinical Psychology of Education

Member	E-mail	Subjects in charge / Field of expertise
Sae Kocho	kocho-sae	Special seminar on methodology of clinical psychology Special seminar on group therapy
		Clinical Psychology and Psychology of Developmentally Disabled Individuals
Narumi Masuda	nmasuda	Special seminar on industrial and organizational psychology Special seminar on clinical interview I
		Clinical Psychology, Trauma and Psychotherapy

* E-mail's should be sent to the above email name with @oita-u.ac.jp following it.

* All members are responsible for Seminar in Welfare and Health Sciences I ・ II and Seminar in Research I ・ II.

* Member in charge of Social Science and Bioethical Science, Seminar in Basic Life Science I ・ II, Seminar in Applied Life Science I ・ II, Practice in Basic Life Science I ・ II, and Practice in Applied Life Science I ・ II has not been determined.

* Practicum courses in the course of clinical psychology are omitted. Members of Clinical Psychology are responsible for them.

.

大分大学学生支援部入試課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL 097-554-7006

FAX 097-554-7472

E-mail nyucenter@oita-u.ac.jp

URL <https://www.oita-u.ac.jp/>